

オフィスまるごとサポートデバイスマネジメント 管理サイト ユーザーマニュアル 管理サイトの操作

最終更新日 2018 年 9 月 14 日

株式会社オプティム
(c)東日本電信電話株式会社

1	はじめに	3
1.1	本製品の概要	4
1.2	特徴	5
1.3	管理サイトの役割	6
1.4	管理サイト動作環境	7
1.5	本マニュアルの見かた	7
1.6	用語集	7
2	管理サイトの操作	9
2.1	トップ	10
2.2	マップ	13
2.2.1	機器の種類	15
2.2.2	管理外機器を管理対象機器に設定する	15
2.2.3	管理外機器を除外機器に設定する	16
2.2.4	除外機器を管理外機器へ戻す	16
2.3	機器	17
2.3.1	表示	18
2.3.2	管理	26
2.3.3	機器	29
2.3.4	アプリ	40
2.3.5	セキュリティ(Windows 機器のみ)	44
2.3.6	位置(Android/iOS/Windows 機器のみ)	45
2.3.7	パッケージ	50
2.3.8	ウイルス対策ソフト	51
2.3.9	クライアント証明書(Android/iOS/Windows 機器のみ)	53
2.3.10	設定	56
2.3.11	メッセージ	59
2.3.12	プロファイル(iOS 機器のみ)	60
2.3.13	リモート操作	61
2.3.14	Exchange 設定(iOS 機器のみ)	73
2.3.15	VPN 設定(iOS 機器のみ)	75
2.3.16	個別構成プロファイル(iOS 機器のみ)	80
2.3.17	VPP 設定(iOS 機器のみ)	82
2.3.18	書籍(iOS 機器のみ)	84
2.3.19	Microsoft Update 更新プログラム(Windows 機器のみ)	85
2.3.20	アラート	86
2.4	メニュー	88
2.5	設定セット作成方法	89
2.5.1	新規作成(登録)する	90
2.5.2	編集する	90
2.5.3	削除する	90
2.5.4	まとめて削除する	90
2.5.5	複製する	90

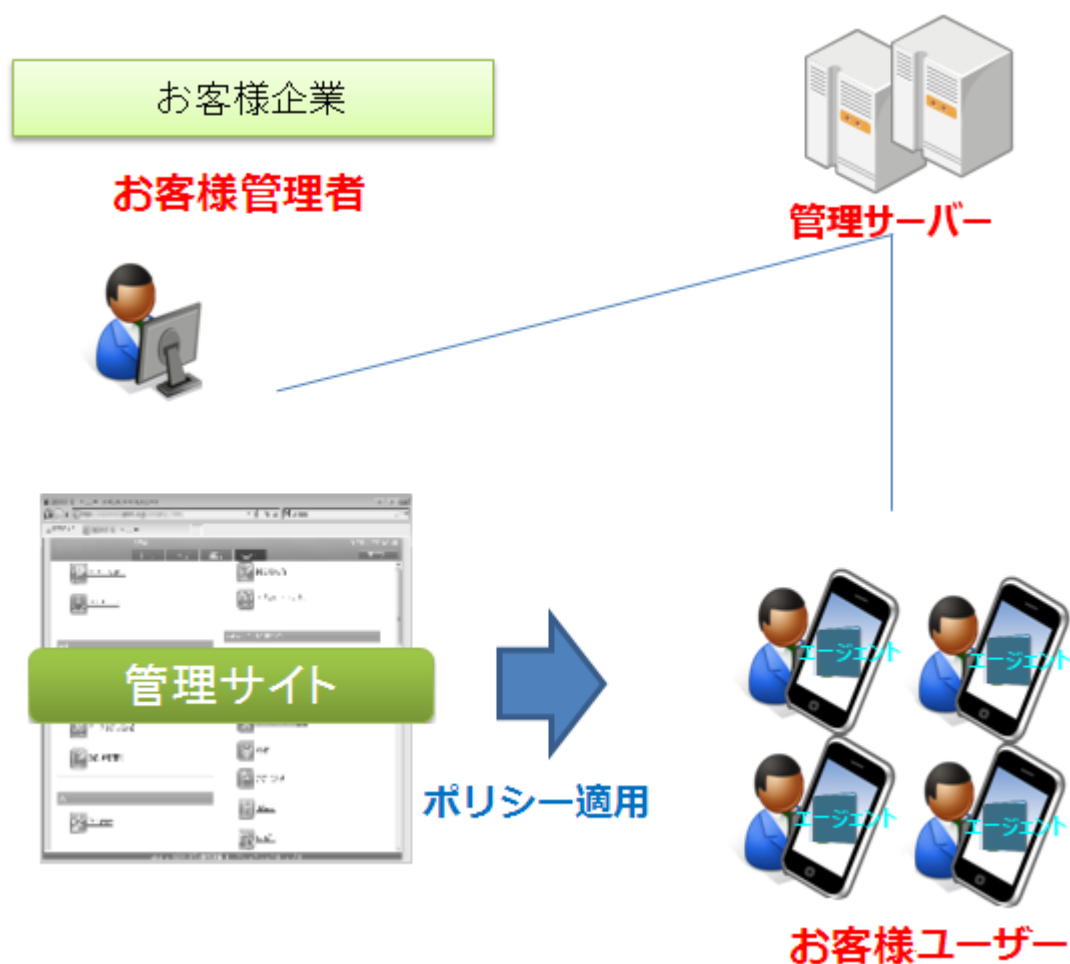
1 はじめに

本製品の概要、特徴、動作環境等について説明します。

1.1 本製品の概要

オフィスまるごとサポートデバイスマネジメント (以下、本製品と呼ぶ)とは専門の知識を必要とせずに、機器の管理・運用を行うサポートサービスです。オフィスまるごとサポートデバイスマネジメント管理サイト(以下、管理サイトと呼ぶ)では、機器の管理・運用を行います。機器の状態や位置情報を確認したり、管理サイトよりリモートロックやリモートワイプ(初期化)をすることができます。

お使いのパソコンへのインストールは必要なく、インターネット上にて操作することができます。



1.2 特徴

◆機器管理

管理サイト上で、機器にユーザーやグループを設定することで、機器の資産管理を容易に行うことができます。また、Android 機器のバッテリー残量やiPhone/iPad の機器デバイス容量、Windows 機器のハードディスク容量も確認することができます。

◆リモートロック

機器を紛失してしまい手元にない場合も、管理サイトからロックをすることができます。

◆リモートワイプ

機器を紛失してしまった場合や、所有者を変更する時などに、管理サイトから機器の全てのデータを削除し、初期化する(工場出荷時の状態に戻す)ことができます。Windows 機器、Android 機器と iPhone/iPad に対応しています。

◆アプリケーション禁止(※)

機器の設定画面やインストールされているアプリケーションの起動を禁止することができます。

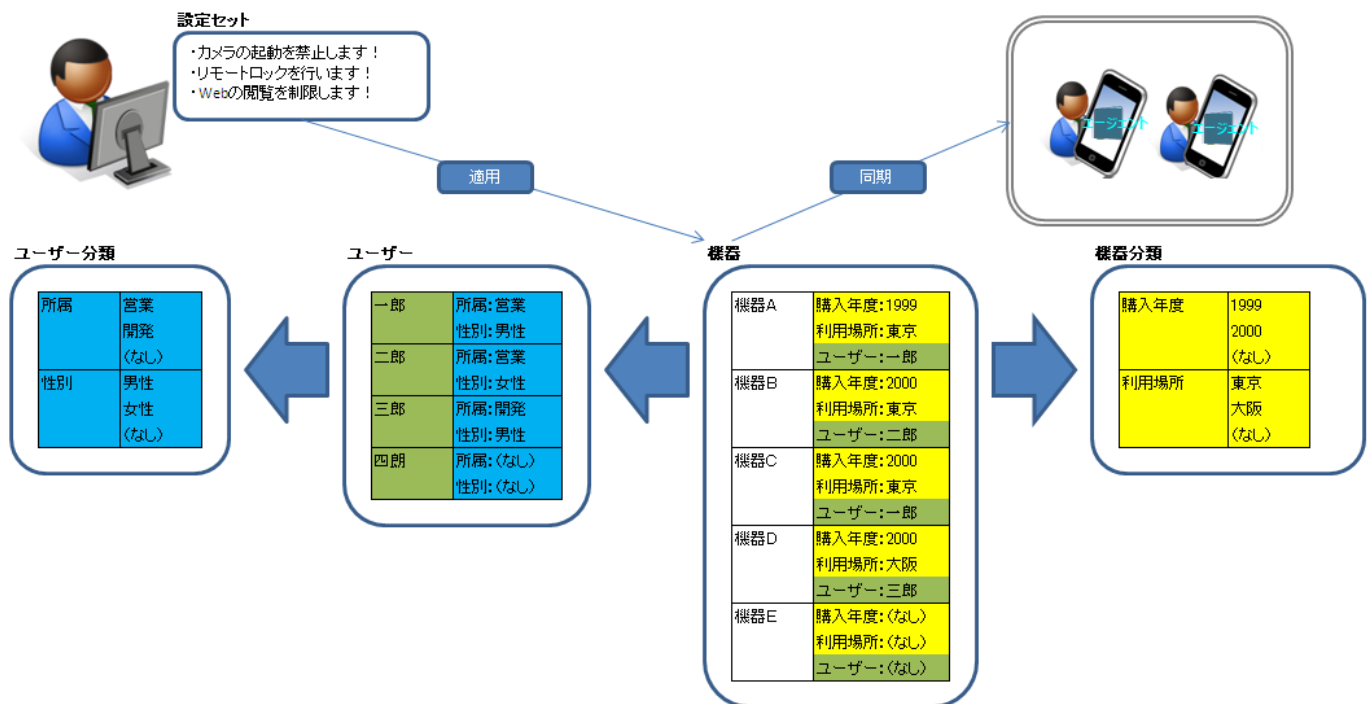
◆連絡先設定(※)

連絡先を機器で1件ずつ登録しなくても、管理サイトから一括で連絡先を登録することができます。

※Android 端末でのみ利用可能な機能です。

1.3 管理サイトの役割

管理サイトの主な役割は機器に対してリモートで設定変更や制御を行うことです。管理サイト操作を行う上で主となる要素の概念を以下で説明します。



◆設定セット

- ・機器に対する設定や制御を定義したものです。この定義を「設定セット」と呼びます。
- ・管理サイト上から設定セットの作成および、対象機器への適用指示を行います。
- ・管理サイト上から行った設定セットの適用指示は、管理サーバーと端末が同期を行うことで実際に反映されます。

◆機器

- ・本製品が管理する主な対象です。
- ・機器分類やユーザーカスタム項目を作成しなくても単一指定および、全指定での設定セットの適用が可能です。

◆機器分類

- ・機器に紐づけることが可能な情報です。機器分類単位で設定セットの一括適用が可能となります。
- ・上記の例では購入年度が 2000 年の機器を対象にすることで、機器B、機器C、機器Dに一括適用が可能です。

◆ユーザー

- ・機器に紐づけることが可能な情報です。ユーザーの作成および機器への紐づけを行っても、ユーザー単位での設定セットの適用は行えませんが、紐づけたユーザーが所属する分類を用いた設定セットの一括適用が可能となります。

◆ユーザーカスタム項目

- ・ユーザーに紐づけることが可能な情報です。ユーザーに紐づけることによりユーザーカスタム項目単位で設定セットの適用が可能となります。ただし、紐づけたユーザーが機器に紐づけられている場合に限りです。
- ・上記の例では営業が所有する機器を対象にすることで、機器A、機器B、機器Cに一括適用が可能です。

1.4 管理サイト動作環境

対応ブラウザ	Internet Explorer 9、Internet Explorer 10、Internet Explorer 11、Firefox、Google Chrome ※Firefox、Google Chrome は最新版のみ対応。 ※横 960 ピクセル以上の表示を推奨します。 ※Apple Push 証明書の登録および更新の際、Internet Explorer では Apple Push Certificates Portal サイトを表示できないため、Safari、Google Chrome、Firefox 等のブラウザで開いてください。 ※対応ブラウザのインストール方法や設定等、また OS に依存する設定に関しては対応いたしかねます。
ネットワーク接続	インターネットへ接続可能なこと。 直接またはプロキシを介して管理サイトと HTTPS 通信(443 番ポート) ができること。
対応言語	日本語／英語

1.5 本マニュアルの見かた

- ・ボタン名、リンク名、タブ名などは[]で表記します。
- ・画面上のバージョン表記は実際のものとは異なる場合があります。
- ・本マニュアルはユーザー種別「管理者」用です。ユーザー種別「管理者」以外で管理サイトにログインした場合は、ユーザー種別(「管理サイト ユーザーマニュアル 組織/ユーザー」の「ユーザー—ユーザー—ユーザーの入力値」を参照)に応じて編集や閲覧に制限がかかります。
- ・Windows／スマートフォンの機種や OS バージョンにより、画面や操作が異なる場合があります。

1.6 用語集

用語	意味
BackgroundFetch 機能	Apple 社から提供されている機能で iOS7 以降に搭載されています。 この機能を使用すると iOS 側が日々のユーザーの使用状況を学習し、適切なタイミングで対象のアプリを呼び起こすことができます。詳細は Apple 社にお問い合わせください。
Bluetooth	機器などで数 m 程度の機器間接続に使われる短距離無線通信技術の一つです。
Bypass Code	iOS7.1 以上の端末のアクティベーションロック(解除)の際に、管理サイト、端末およびアクティベーションサーバー(Apple)間のやり取りで発生する 26 文字の英数字のコードのことです。 通常、管理者や端末利用者が使用する必要はありませんが、Apple への確認や救済措置に必要となります。
Exchange 設定	Exchange Server と端末との接続先や接続ポリシーの設定を行います。
GUID	本製品の機器を一意に識別する際の情報として利用されます。
Jailbreak 状態	iOS のシステム管理者権限を取得し、Linux カーネル部分を含むファイルシステムにアクセス可能な状態にすることです。
NFC	数センチ程度の通信に使われる近距離無線通信技術のことです。
Push 通知	管理サイトから、端末に対して、リアルタイムに設定の指示を行うことです。
root 化	Android OS のシステム管理者権限を取得し、Linux カーネル部分を含むファイルシステムにアクセス可能な状態にすることです。
SSID	無線 LAN のアクセスポイントに付けられる英数字の名前です。
Store ID	Apple 社の App Store で管理されているアプリケーション毎の ID です。 ID の確認方法は、ご利用のブラウザで「アプリ名」App Store で検索します。表示された URL に Store ID が含まれています。
URL	Web サイトのアドレスのことです。 例「http://www.xxxx.co.jp」
USB デバック	Android 端末のアプリケーション開発を行う際に利用する、開発向けモードのことです。
Wi-Fi	無線 LAN 通信のことです。
アクティビティ	Android 端末の画面に相当し、ユーザーが操作する画面と操作に対する処理を行います。
エージェント	機器を管理、運用するためのアプリケーションです。
オペレーター	サービス企業で本製品のサポートを行う担当者のことです。
監視対象端末	iOS 機器に対して管理範囲を拡張できる端末設定モードです。 Apple Configurator2 や Device Enrollment Program を活用し端末を設定できます。

用語	意味
管理者	利用企業内で本製品の管理を行うユーザーのことです。 管理サイトを利用し、スマートデバイス（iPhone/iPad、Android）や PC(Windows)の管理・運用を行えます。
企業コード	本製品の契約毎に割り振られた英数字の企業を表す文字列です。利用企業を識別するために使用します。
サーバー	本マニュアルでは Android、iPhone/iPad や Windows 端末などが通信を行う管理サーバーです。
サービス企業	本製品を提供する企業のことです。利用企業はサービス企業に対して利用の申し込みを行います。
スクリーンロック	Android 標準の画面ロックをかけた際の制御方法の一つです
スワイプ	iOS 機器の操作で指を触れたまま特定の方向になでることです。画面のスクロールやスライダーの移動などを行うための操作です。
セキュリティ設定	端末のセキュリティ設定情報のことです。
デバイス制限	デバイスに搭載した各機能について、使用許可/使用禁止の設定を行うことです。
認証コード	本製品のライセンス認証に必要な英数字の文字列です。企業コードと合わせて端末から指定することで、本製品の使用が可能となります。
バージョン番号	アプリケーションに決められた、バージョン管理用の整数表示番号のことです。バージョン番号は機器のアプリケーション詳細情報画面で確認してください。詳細情報画面の表示方法は、「管理サイト ユーザーマニュアル 管理サイトの操作」の「管理サイトの操作－機器－アプリ」を参照してください。 ※バージョン名とは異なります
パスコード	iOS 機器標準の画面ロックをかけた際の制御方式の一つです。
パッケージ名	アプリケーションごとに異なる決められた識別 ID のことです。
ブラウザ	インターネット上にある Web サーバーの情報をみるためのソフトです。 (例：Internet Explorer や Firefox など)
紛失モード	Apple 社が提供している iOS の紛失モードに対応する設定を行います。紛失、盗難にあった場合、遠隔ロックをかけることやメッセージを表示することが可能となります。
モデル	端末の型番のことです。
ユーザー	本製品を利用する機器の使用者です。
ライセンス	本製品を使用するために契約された権利のことです。このライセンス契約数の範囲内で、機器やユーザーを登録することができます。 詳細は、管理者または、オペレーターにお問い合わせください。
利用企業	本製品を利用する企業のことです。

2 管理サイトの操作

管理サイトでは、管理デバイスに対するルール設定および、管理デバイスの状態確認を行います。

本章では、管理サイト上で操作起点となる 4 つのタブ(トップ、マップ、機器、メニュー)について説明いたします。

2.1 トップ

管理サイトにログイン後、最初に表示されるページです。端末状態、最近利用した機器、本製品の利用状況(ライセンス情報)、機器セットアップ関連の情報を確認することができます。

The screenshot shows the management site's top page with the following elements and callouts:

- 1**: Header area containing the company name and navigation tabs.
- 2**: Company name input field.
- 3**: Navigation tabs: トップ (Top), マップ (Map), 機器 (Devices), メニュー (Menu).
- 4**: Logout button (ログアウト).
- 5**: Notification banner for a new menu design.
- 6**: Announcement section (お知らせ) listing manual updates.
- 7**: Alert section (アラート) showing 1 item.
- 8**: Announcement file download section (お知らせファイルダウンロード) with a table of files.
- 9**: Terminal status section (端末状況) showing OS distribution, management status, and screen lock status.
- 10**: Recently used devices section (最近使用した機器) showing device icons.
- 11**: Usage status section (利用状況) showing license and package usage.
- 12**: Device setup section (機器セットアップ) showing setup steps for Android and iOS.
- 13**: Footer link for Terms of Use (利用規約).
- 14**: Footer link for Privacy Policy (プライバシーポリシー).

Additional callouts (A), (B), and (C) point to specific buttons: (A) 全て見る (See all), (B) 詳細を見る (See details), and (C) 全部見る (See all).

項番	対象	説明
1	ロゴ	クリックするとトップページ(当画面)に移動します。 (ページリンクでトップをクリックした際と同様の動作)
2	ログイン情報	ログインしている管理者の名前や利用企業名が表示されます。
3	ページリンク	クリックすると各ページに移動します。 トップ...トップ画面を表示します。(当画面) マップ...マップ画面を表示します(13 ページ) 機器...機器画面を表示します(17 ページ) メニュー...メニュー画面を表示します(86 ページ)
4	[ログアウト]	クリックするとログアウトします。
5	新メニューデザイン切り替え 用バナー	クリックするとオフィスまるとサポートデバイスマネジメント管理サイトの画面が 新デザインになります。
6	サービス企業からのお知らせ	サービス企業からのお知らせが表示されます。サービス企業の設定により、表示内容は 異なり、また、お知らせ欄が表示されない場合もあります。右下の[全て見る](A)をクリ ックすると、お知らせ一覧が表示されます。
7	アラート	検知対象になっているアラートの総数を表示します。アラートの検知対象の設定は、通 知設定画面で行います。通知設定画面の詳細は、「管理サイト ユーザーマニュアル 各 種設定」の「管理－通知設定」を参照してください。また、[アラート一覧]をクリックする と、アラート画面を表示します。アラート一覧の詳細については、「管理サイト ユーザ ーマニュアル 各種設定」の「管理－アラート」参照してください。
8	お知らせファイルダウンロー ド	配信されたお知らせファイルの一覧が表示されます。[ダウンロード]をクリックすると、 お知らせファイルのダウンロードが行えます。
9	端末状況	登録されている端末状態に関するグラフ「OS 種別」「管理状態」「スクリーンロック」が表 示されます。グラフ上にカーソルを合わせると、項目名と該当する端末数が表示されま す。凡例の項目名をクリックすることで、項目に該当する機器を表示します。
10	最近使用した機器	最近使用した機器が表示されます。 各機器(B)および、全部見る(C)をクリックすると機器ページを表示します。 (ページリンクで機器をクリックした際と同様の動作) 各機器(B)をクリックした場合は、クリックした機器が選択された状態で機器ページを 表示します。

項番	対象	説明
11	利用状況	<p>以下の内容が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユーザーライセンス(使用数／契約数) ユーザーの作成状況をグラフと数値で表示します。最大 50,000 ユーザーまで作成が可能です。ユーザーの新規作成については「管理サイト ユーザーマニュアル 組織/ユーザー」の「ユーザー—ユーザー—ユーザーを新規作成する」を参照してください。 ・機器ライセンス(使用数／契約数) 機器の作成状況をグラフと数値で表示します。最大 50,000 機器まで作成が可能です。機器の新規作成については「機器を新規作成する」23 ページを参照してください。 ※お客様により表示が異なります。 ・資産管理限定機器ライセンス(使用数／契約数) 資産管理限定機器の作成状況をグラフと数値で表示します。最大 50,000 機器まで作成が可能です。機器の新規作成については「機器を新規作成する」23 ページを参照してください。 ・基本パッケージ 利用可能な基本機能です。全ての機器で、ご利用いただけます。 ・オプションパッケージ(使用数／契約数) 利用可能なオプション機能と利用状況をグラフと数値で表示します。オプションパッケージを割り当てた機器でのみ、ご利用いただけます。機器へのオプションパッケージ割り当てについては「機器にオプションパッケージの割り当ておよび解除を行う」50 ページを参照してください。使用数が契約数に達している場合は、新たにオプションパッケージを割り当てることができません。 ・Apple Push 証明書登録 Apple Push 証明書が失効する 60 日前より赤字で表示されます。 ・DEP サーバートークン登録 DEP サーバートークンが失効する 60 日前より赤字で表示されます。
12	機器セットアップ	<p>以下の内容が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Android 用エージェント：エージェントダウンロード URL <ul style="list-style-type: none"> ・エージェントダウンロード用 QR コード QR コードを読み込んで、エージェントをダウンロードできます。 ・エージェント認証用 QR コード QR コードを読み込んで、エージェント認証ができます。 ・Device Owner Mode キットリング用 QR コード(Android7.x 以上) Android7.x 以上では、QR コードを読み込んで、Device Owner Mode キットリングができます。キットリングの詳細については、「Device Owner Mode 導入マニュアル」を参照してください。 ・iOS 用セットアップ：ライセンス認証 URL ・Windows 用エージェント：エージェントダウンロード URL ・企業コード ・認証コード
13	利用規約	クリックすると、利用規約が新しいウィンドウで表示されます。
14	プライバシーポリシー	クリックすると、プライバシーポリシーが新しいウィンドウで表示されます。

※1～4、13、14 はすべての画面で表示されます。どの画面で操作を行っても同様の動作となります。

※11、12 はご契約により表示が異なります。

2.2 マップ

機器のネットワーク接続状況をネットワークマップで確認することができます。また、各機器アイコンをクリックすると、画面右側に詳細情報が表示されます。機器アイコンの詳細については、「管理サイト ユーザーマニュアル 付録」の「付録一 機器アイコン一覧」を参照してください。

※管理外機器は、Windows エージェントがインストールされている機器がネットワーク内に存在する場合のみ検出されます。

※USB 無線 LAN アダプターを使用してネットワークに接続している Windows 機器は、検出されない場合がございます。

※ネットワークで「管理外機器の検出」が無効になっている場合、そのネットワーク配下の管理外機器は検出されません。また、管理外機器で2日以上通信がない機器はマップ上から削除されます。

⇒「管理サイト ユーザーマニュアル 機器」の「機器－ネットワーク」を参照してください。

※機器の検出には時間がかかる場合がございます。ネットワークの状況によって全ての機器が検出できない場合もございます。

※USB LAN アダプターや、仮想ネットワークアダプターを使用してネットワークに接続している場合、機器が正しく検出されない場合があります。

【企業名】 管理者としてログイン中

トップ マップ 機器 メニュー ログアウト

1 機器: ☒ 管理対象機器 ☒ 管理外機器 ☐ 除外機器 (A) 検索

ネットワーク:

2 3 4 5 6 7 8 9

詳細

機器名
iPad機器1
[aa:bb:cc:01:dd:02]

ユーザー
(なし)

グローバルIPアドレス
192.168.1.100

モデル名
iPad

電話番号
(Unknown)

バッテリー残量
(Unknown)

あと99件

項番	対象	説明
1	検索機能	<p>検索機能を利用し、表示するネットワークマップを絞り込むことができます。機器の種類を選択、または、ネットワーク名を入力し[検索](A)をクリックします。どちらか片方だけの入力でも検索は可能です。再度全てのネットワークを表示するにはブラウザを再読み込み、または機器、ネットワーク名入力欄を空欄にし[検索](A)をクリックします。</p> <p>※管理対象機器、管理外機器、除外機器の説明については、「機器の種類」15ページを参照してください。</p>
2	グローバルネットワークアイコン	<p>グローバルネットワークの IP アドレスとネットワーク名が表示されます。クリックすると詳細情報が⑨に表示されます。</p> <p>※ネットワーク名は設定した場合のみ表示されます。ネットワーク名の設定方法は、「管理サイト ユーザーマニュアル 機器」の「機器－ネットワーク」を参照してください。</p>
3	モバイルネットワーク	<p>iPhone、3G/LTE 接続ができる iPad、3G/LTE で接続されている Android 機器、3G/LTE で接続されている Windows 機器が表示されます。</p> <p>※iPhone/iPad は Wi-Fi 接続の場合でも、3G/LTE 接続ができる機器であればモバイルネットワークに表示されます。</p>
4	機器アイコン	機器アイコンをクリックすると詳細情報⑨が表示されます。
5	iPad ローカルネットワーク	3G/LTE 接続ができない iPad はローカルネットワーク(IP アドレスなし)に表示されます。
6	ローカルエリアネットワーク	ローカルエリアネットワークに接続されている機器が表示されます。
7	ローカルエリアネットワークアイコン	<p>ローカルエリアネットワークの IP アドレスとネットワーク名が表示されます。クリックすると詳細情報が⑨に表示されます。</p> <p>※ネットワーク名は設定した場合のみ表示されます。ネットワーク名の設定方法は、「管理サイト ユーザーマニュアル 機器」の「機器－ネットワーク」を参照してください。</p>
8	[さらに読み込む]	機器は 4 行表示されています。[さらに読み込む]をクリックすると、表示行数が倍になります。
9	詳細情報	<p>マップ上でクリックされた機器やネットワークの詳細情報が表示されます。表示される情報は機器やネットワークにより異なります。[詳細]をクリックすると、機器やネットワークの詳細画面が表示されます。</p> <p>機器の場合：</p> <p>[詳細]をクリックすると、機器画面が表示され、機器情報の編集や設定の変更等を行うことができます。機器画面についての詳細は 17 ページ「機器」を参照してください。</p> <p>管理外機器を管理対象機器に設定する場合は、15 ページ「管理外機器を管理対象機器に設定する」を参照してください。</p> <p>ネットワークの場合：</p> <p>[詳細]をクリックすると、ネットワーク画面が表示され、ネットワーク名等の変更を行うことができます。</p> <p>ネットワーク画面でまだ登録を行っていないネットワークの場合は、[操作]ボタン(※1)が表示されます。[管理]をクリックすると、ネットワーク画面が表示されます。ネットワーク画面の詳細については、「管理サイト ユーザーマニュアル 機器」の「機器－ネットワーク」を参照してください。</p> 

2.2.1 機器の種類

機器の種類	説明
ライセンス認証済み機器	機器にエージェントがインストールされており、ライセンス認証済みの機器。
ライセンス認証待ち機器	これからライセンス認証を行う予定がある機器で、機器検出機能により検出され、ライセンス認証待ち機器と登録されたもの。 ※管理外機器をライセンス認証待ち機器へ登録する方法は、「管理外機器を管理対象機器に設定する」15 ページを参照してください
ライセンス認証対象機器	「ライセンス認証済み機器」と「ライセンス認証待ち機器」の総称。
資産管理対象機器	機器検出機能により検出された機器のうち、資産管理対象機器と登録されたもの。ラベリングのみが可能。 ※管理外機器を資産管理対象機器へ変更する方法は、「管理外機器を管理対象機器に設定する」15 ページを参照してください
管理対象機器	「ライセンス認証対象機器」と「資産管理対象機器」の総称。
管理外機器	機器検出機能により検出された、マップ上表示のみが可能な機器。 ・マップに表示されただけで、機器ライセンスを使用することはありません。管理対象機器へ変更すると機器ライセンスが使用されます。 ※管理外機器を管理対象機器へ変更する方法は、「管理外機器を管理対象機器に設定する」15 ページを参照してください。管理外機器を除外機器に設定する方法は「管理外機器を除外機器に設定する」16 ページを参照してください。 ・1 企業あたりの管理外機器の上限は 50,000 までです。上限を超えて検出された場合は、最終検出日時が新しい管理外機器を優先してマップに表示します。 ・管理外機器は機器レポートには表示されません。機器レポートの詳細は、「管理サイト ユーザーマニュアル 機器」の「機器－機器レポート (エクスポート)」を参照してください。 ・管理外機器は無通信検知の対象とはなりません。無通信検知の詳細は、「管理サイト ユーザーマニュアル 各種設定」の「管理－通知設定－無通信検知を新規作成する」を参照してください。
除外機器	管理外機器をマップ上非表示の指定とした機器。

2.2.2 管理外機器を管理対象機器に設定する

ネットワーク機器検出機能で検出されたマップ上で表示のみが可能な機器(管理外機器)を機器一覧の管理下に置くことができます。以下の手順に従って行ってください。管理外機器をマップ上非表示に設定する(除外機器にする)場合は、「管理外機器を除外機器に設定する」16 ページを参照してください。

1. マップ画面より管理下におきたい管理外機器をクリックします。
2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させ、[管理]をクリックします。
3. 該当の機器を選択します。
4. 必要事項を入力し、[保存]をクリックします。

※入力項目については以下を参照してください。

⇒機器を新規作成する 23 ページ

※ライセンス認証待ち機器、資産管理対象機器の詳細については、「機器の種類」15 ページを参照してください。

2.2.3 管理外機器を除外機器に設定する

ネットワーク機器検出機能で検出されたマップ上で表示のみが可能な機器(管理外機器)をマップ上非表示に設定する(除外機器にする)ことができます。以下の手順に従って行ってください。管理外機器を管理下におく場合は、「管理外機器を管理対象機器に設定する」15 ページを参照してください。

1. マップ画面より除外機器に設定したい管理外機器をクリックします。
2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
3. [除外]をクリックします。

※画面を更新すると([F5]押下)、管理外機器に表示されなくなります。

※機器の種類に除外機器を指定して検索を行った場合は除外機器も表示されます。

2.2.4 除外機器を管理外機器へ戻す

マップ上非表示となった機器(除外機器)を、再度マップ上に表示する(管理外機器にする)には、以下の手順に従って行ってください。管理外機器を除外機器に設定する方法は、「管理外機器を除外機器に設定する」16 ページを参照してください。

1. マップ画面で「除外機器」にチェックを入れ、[検索]をクリックし、除外機器を表示させます。
2. マップより管理外機器へ戻す除外機器をクリックします。
3. [操作]をクリックして操作メニューを表示させ、[除外解除]をクリックします。

※画面を更新すると([F5]押下)、除外機器に表示されなくなります。

2.3 機器

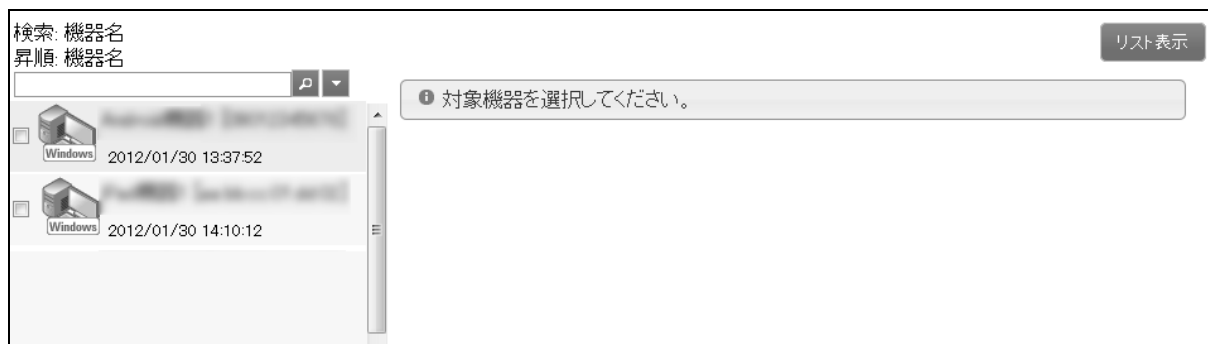
機器一覧を表示することが出来ます。機器一覧はリスト形式で表示するリスト表示と、機器単位で表示する詳細表示があります。

リスト表示では、複数の機器の情報が一覧で表示されるため、複数の機器の状態確認を一度で行うことが出来ます。

詳細表示では、機器ごとの状態確認、ルール適用、リモート操作、削除を行うことができます。ルール適用の際は、事前に設定セットを作成しておく必要があります。

※サービス企業側のエージェント認証解除設定で、資産管理対象として削除する設定になっている場合は、Windows エージェントの認証解除、もしくはアンインストールが行われると、Windows 機器は自動的に削除され、利用可能な機器ライセンス数が更新されます。

※サービス企業側のエージェント認証解除設定で、資産管理対象として削除する設定になっている場合は、管理サイト上で Windows 機器を削除すると、次回同期時に Windows 端末は自動的に認証が解除されます。Windows 端末を紛失された場合は発見されるまで Windows 機器を削除しないでください。



2.3.1 表示

機器の表示を切り替えることが出来ます。

2.3.1.1 リスト表示

機器一覧をリスト形式で表示する事が出来ます。

リスト形式では、複数の機器に対する状態確認や機器の絞り込みを行うことができます。

The screenshot displays a web interface for managing devices. It features a table with columns for communication time, device name, model name, user, phone number, organization, OS name and version, agent version, and authentication time. The interface includes several numbered callouts: 1 points to a '絞り込み' (Filter) button; 2 points to the '管理情報' (Management Information) header; 3 points to a status bar showing '条件に該当する機器数: 14 件 / 機器数: 14 件' (Number of devices matching conditions: 14 items / Total number of devices: 14 items); 4 points to a '詳細表示' (Detailed View) button; and 5 points to a pagination control showing '1 / 2'.

項番	対象	説明
1	絞り込み	機器リスト表示の条件を絞り込みすることが出来ます。絞り込み条件として「検索」、「フィルター設定」を設定することが出来ます。
2	機器リスト	機器一覧より選択した機器がリスト形式で表示されます。対象の機器名をクリックすることで機器(詳細表示)を表示することが出来ます。 項目名の横の「▼」「▲」をクリックすることで(昇順・降順)に並べ替えを行うことが出来ます。
3	条件に該当する機器数/機器数	条件に該当する機器数: 絞り込みやフィルター条件にヒットした機器数が表示されます。 機器数: 機器数の総数が表示されます。
4	詳細表示	クリックすることで機器(詳細表示)を表示することが出来ます。
5	ページ番号	ボタンをクリックすることでページ切り替えを行えます。また、ページ番号を入力することでそのページにジャンプすることもできます。


2.3.1.2 リストの絞り込みを行う

設定した条件に当てはまる機器情報のみ表示することができます。条件は「フィルター」、「検索」から指定することができます。

2.3.1.3 フィルター条件を設定する

絞り込み条件としてフィルターの項目を指定して条件を設定します。

項目横のチェックボックスをクリックし、チェックがついた項目でフィルターを行うことができます。複数の項目を選択することで、検索条件をさらに絞り込むことが可能です。

[削除]  をクリックすることでフィルター条件を削除することができます。

フィルターできる項目は以下のとおりです。


- ・ OS、Android／iOS／Windows／Android (認証待ち)／iOS(認証待ち)／Windows(認証待ち)
- ・ 組織、企業により登録されている組織名を階層表示する。
- ・ 電話番号、登録済み／登録なしで表示されます。
- ・ ユーザー、登録済み／登録なしで表示されます。
- ・ 通信日時、認証済み管理機器／認証済み管理外機器／無通信検知機器／認証待ち機器／資産管理対象機器
- ・ 機器分類(機器カスタム項目)・ユーザーカスタム項目、機器分類として登録されている項目をフィルターする。

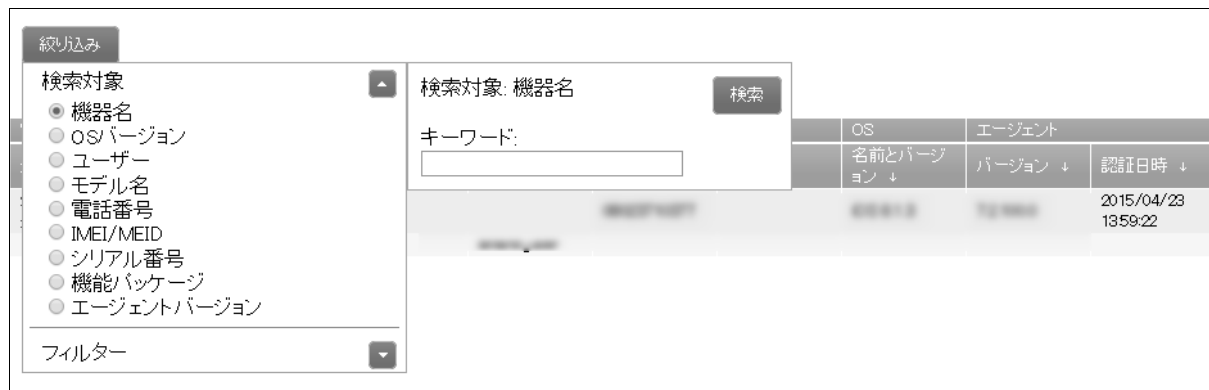
※SIM が複数挿入されている端末の場合、電話番号で検索対象となるのは、1つの電話番号のみとなりますのでご注意ください。

2.3.1.4 検索条件を設定する

「検索」をクリックすることで検索結果をリストに表示することが出来ます。

検索対象をラジオボタンから選択し、検索キーワードを入力します。[検索]をクリックすることでリストに表示することが出来ます。複数の項目を選択することで、検索条件をさらに絞り込むことが可能です。

[削除]  をクリックすることで検索条件を削除することができます。



検索できる項目は以下のとおりです。

※検索条件のキーワードに複数の項目を指定する場合は、空白区切りで入力してください。

※端末認識番号について：Android 端末は IMEI / MEID からの検索が可能です。

- ・ 機器名
- ・ OS バージョン
- ・ ユーザー
- ・ モデル名
- ・ 電話番号
- ・ IMEI/MEID
- ・ シリアル番号
- ・ 機能パッケージ
- ・ エージェントバージョン

2.3.1.5 リストの並び替えを行う

リストの並び替えを行うことができます。

各項目の「▼」「▲」をクリックすることで昇順、降順で並べ替えを行うことが出来ます。

※複数の項目で並び替えを行うことは出来ません。

2.3.1.6 リスト・詳細表示の切り替えを行う

機器の表示で機器(詳細表示)もしくは機器(リスト表示)を切り替えることができます。

[詳細表示]をクリックすることで機器(詳細表示)が表示されます。

切り替え後に[リスト表示]をクリックすることで機器(リスト表示)が表示されます。

2.3.1.7 機器(詳細表示)を表示する

機器の表示で機器(詳細表示)を表示することが出来ます。

機器(詳細表示)はリストから対象の機器をクリックした場合と、「詳細表示へ変更」をクリックした場合に表示することが出来ます。



2.3.1.8 詳細表示

機器に対する状態確認、ルール適用、リモート操作、削除を行うことができます。ルール適用の際は、事前に設定セットを作成しておく必要があります。以下の画面は、特定の機器を一覧から選択すると表示されます。

※設定セットの作成については以下を参照してください。

⇒メニュー 86 ページ



項番	対象	説明
1	検索/並び替え	(A)には検索対象項目、(B)には並び替えの対象項目が表示されます。検索する場合は、検索するキーワードを(C)に入力し、[検索]  をクリックします。検索後、全ての機器を再表示するにはブラウザを再読み込み、または(C)を空欄にし、再度[検索]  をクリックします。
2	[その他の操作]	<p>クリックすると以下のメニューが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全てにチェックを入れる：全ての機器のチェックボックスにチェックが入ります。チェックが入った機器は一括削除対象となります。 ・全てのチェックをはずす：全ての機器のチェックボックスからチェックを外します。 ・検索対象：検索対象を機器名、OS バージョン、モデル名、電話番号、IMEI/MEID、シリアル番号、ユーザー、機能パッケージ、組織、登録した機器カスタム項目のいずれかに変更することができます。 <p>※OS バージョンで機器の検索をする際は、英字やカタカナの全角半角等を機器のバージョン名と全く同じ値で入力してください。文言が同じでも全角半角等が異なる場合、検索結果に表示されません。</p> <p>※端末認識番号について：Android 端末は IMEI / MEID からの検索が可能です。iOS 端末は IMEI からの検索のみに対応しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・並び替え 昇順：機器一覧を機器名、エージェントバージョン、通信日時、認証日時のいずれかで昇順に並び替えます。 ・並び替え 降順：機器一覧を機器名、エージェントバージョン、通信日時、認証日時のいずれかで降順に並び替えます。 ・新規作成：ライセンス認証前に、あらかじめ機器情報を作成しておきます。 <p>機器のライセンス認証を待たずに、ルール設定を行っておくことが可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一括削除：チェックの入った機器を削除します。詳細は「機器をまとめて削除する」24 ページを参照してください。
3	機器一覧	<p>登録されている機器一覧が表示されます。</p> <p>※各ページに表示される機器件数はリスト表示、詳細表示ともに 100 件です。</p> <p>(D)：機器名 (E)：検索対象の機器情報(※1) (F)：並び替え対象の機器情報</p> <p>※1 検索対象に機器名を選択した場合、機器名は既に上段に表示されているため中段にはユーザー名が表示されます。</p> <p>※通信日時が赤字表示されている機器は、無通信検知された機器です。</p> <p>※通信日時が赤字表示かつ、末尾に「(管理外)」または「(同期不可)」と表示されている機器は、管理外検知された機器です。管理外検知された機器の詳細は、以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理外：端末より構成プロファイルが手動で削除された場合に表示されます。 ・同期不可：端末の MDM 構成プロファイルまたはエージェントが、継続的に管理サイトとの通信ができない場合に表示されます。 <p>また、表示されてしまった場合の対応方法については、「FAQ マニュアル」の「よくある質問と回答-管理サイト FAQ-Q24」を参照してください。</p> <p>※DEP 機器の場合、重要な OS アップデートがあれば通知が表示されます。</p>
4	機器情報	機器一覧より選択した機器情報が表示されます。
5	[同期]	クリックすると管理サーバーとエージェントが通信を行います。詳細は「機器と同期する」22 ページを参照してください。
6	[操作]	<p>クリックすると以下のメニューが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・削除：機器を削除します。詳細は「機器を削除する」23 ページを参照してください。

2.3.1.9 機器と同期する


同期を行うと、管理サイトで行った各種設定を機器に反映します。また、Web 閲覧履歴や位置情報など、管理サイトで保持している機器情報の更新を行います。通常、同期は定期的に行われますが、お急ぎの場合は手動で同期を行ってください。なお、同期を行った後、設定の反映や機器情報が更新されるまでの時間は、サーバーの通信状況に依存します(ベストエフォート型)。

1. 機器一覧より対象とする機器をクリックします。
2. [同期]をクリックします。
3. 確認画面で[OK]をクリックします。

2.3.1.10 機器を新規作成する

通常、管理サイトへ機器の登録は、機器側でライセンス認証操作を行ったタイミングとなります。機器側のライセンス認証を待たずに管理サイトへ機器を登録したい場合は、手動で事前登録することが可能です。事前登録をすることにより、機器への各種設定作業を機器側のライセンス認証を待たずに行えます(機器への反映はライセンス認証を行った機器との同期が必要)。また、事前登録した機器は、「ライセンス認証待ち」の状態となるため、ライセンス認証を行っていない機器を確認する際にも役立ちます。

入力項目に関しては、「機器の入力値」25 ページを参照してください。

1. [その他の操作]  をクリックしてその他の操作メニューを表示させます。
2. 「新規作成」より作成対象とする機器をクリックします。
3. 必要事項を入力し、[保存]をクリックします。

※機器がライセンス認証した際に、事前登録した情報と紐づくように、(端末識別用)の項目のいずれか一つは必ず設定してください。ただし、Windows 機器の新規作成時において、SIM に割り当てられている MAC アドレスは端末識別用として使用することができません。Windows 機器の(端末識別用)の値を入力する際は、Wi-Fi や Bluetooth 等に割り当てられている MAC アドレス、もしくは、電話番号、IMEI/MEID、シリアル番号のいずれかを入力してください。また、Android6.x 以降の機器の場合は、MAC アドレスを取得することができないため、端末識別用には MAC アドレスではなく、電話番号もしくは IMEI/MEID を指定してください。

※画面上の「分類 1」および「自由入力 1」は機器カスタム項目です。機器カスタム項目を登録していない場合は表示されません。

※iPhone/iPad では、「+81」から始める国際電話番号が表示されていることがありますが、「0」から始まる日本の電話番号に置き換えて入力してください。

例)

・ 090 の場合

国際電話番号：+8190XXXXXXXX

日本の電話番号：090XXXXXXXX

・ 080 の場合

国際電話番号：+8180XXXXXXXX

日本の電話番号：080XXXXXXXX


2.3.1.11 機器を削除する

管理サイトに登録されている機器を削除します。削除した機器は、管理サイト上から見えなくなりますので、一切の設定や確認が行えなくなります。本製品から機器に対して行った設定はそのまま保持されるのでご注意ください。また、本操作を行っても機器側でのライセンス解除作業、エージェントアンインストール作業、プロファイルアンインストール作業は別途必要です。

1. 機器一覧より対象とする機器をクリックします。
2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
3. [削除]をクリックします。
4. 確認画面で[OK]をクリックします。

2.3.1.12 機器をまとめて削除する

管理サイトに登録されている機器を複数指定して削除します。削除したい機器が多数ある場合でも、一度の操作で削除可能です。その他に事項については「機器を削除する」と同様です。

1. 機器一覧より対象とする機器のチェックボックスにチェックを入れます。
2. [その他の操作]  をクリックしてその他の操作メニューを表示させます。
3. [一括削除] をクリックします。
4. 確認画面で[OK] をクリックします。

2.3.1.13 機器の入力値

機器では以下の入力ルールで設定を行います。

項目名	ルール
【機器名】	機器名を入力します。必須入力項目です。 機器名は機器画面やログなど、管理サイトの様々な箇所で表示されます。 重複はできません。 100 文字以内で入力してください。
【種別】	種別を選択します。当項目は資産管理対象機器の場合のみ入力項目として表示されます。 以下より選択します。 ネット TV 端末, レコーダー, STB, AV アンプ, デジタルカメラ, デジタルビデオカメラ オーディオ, プレイヤー, プロジェクター, フォトフレーム, AV 系その他, デスクトップ ノート PC, ストレージ, PDA, プリンター, タブレット, スマートフォン, PC 系その他 携帯電話, IP 電話, ルーター, FAX, スイッチングハブ, PLC モデム, 無線 LAN モデム 同軸ケーブルモデム, 通信系その他, エアコン, 冷蔵庫, 洗濯機, 照明, 電子レンジ Web カメラ, ゲートウェイ, ドアホン, センサー, 換気扇, ブラインド, シャッター 雨戸, 散水機, 給湯器, 便座, 電気錠, 太陽光発電, 床暖房, ポット, IH 調理器, 炊飯器 掃除機, くらし系その他, 据置ゲーム機, ポータブルゲーム機, 家庭用ロボット 娯楽系その他, その他
【所属】	プルダウンメニューで登録済みのユーザーまたは組織を選択します。
【機器カスタム項目(分類)】	プルダウンメニューで機器カスタム項目(分類)内のグループを選択します。機器カスタム項目(分類)に登録していない場合は表示されません。機器カスタム項目(分類)を選択すると、機器カスタム項目(分類)単位で機器の一括設定が可能です。
【機器カスタム項目(自由入力)】	機器カスタム項目(自由入力)を入力します。機器カスタム項目(自由入力)に登録していない場合は表示されません。備考欄としての位置づけになります。 1000 文字以内で入力してください。 制御文字は入力できません。
【MAC アドレス (端末識別用)】	ライセンス認証が行われた機器と、当画面で登録した機器を関連付けるための MAC アドレスを入力してください。MAC アドレスの確認方法については、機器に付属しているマニュアルを参照してください。 重複はできません。 「XX:XX:XX:XX:XX:XX」(X は大文字の 16 進数)という形式で入力してください。
【電話番号 (端末識別用)】	ライセンス認証が行われた機器と、当画面で登録した機器を関連付けるための電話番号を入力してください。ハイフンは不要です。電話番号の確認方法については、機器に付属しているマニュアルを参照してください。 重複はできません。 20 文字以内で入力してください。 半角数字のみで入力できます。
【IMEI / MEID (端末識別用)】	ライセンス認証が行われた機器と、当画面で登録した機器を関連付けるための IMEI または MEID を入力してください。当項目は Android 機器と Windows 端末の場合のみ入力項目として表示されます。IMEI / MEID の確認方法については、機器に付属しているマニュアルを参照してください。 重複はできません。 100 文字以内で入力してください。 半角英数字、記号のみで入力できます。
【シリアル番号 (端末識別用)】	ライセンス認証が行われた機器と、当画面で登録した機器を関連付けるためのシリアル番号を入力してください。当項目は iOS 機器および Windows 機器の場合のみ入力項目として表示されます。シリアル番号の確認方法については、機器に付属しているマニュアルを参照してください。 重複はできません。 100 文字以内で入力してください。 半角英数字、記号のみで入力できます。

2.3.2 管理

管理情報の確認および編集、エージェント情報の確認、ログの確認が行えます。

The screenshot displays the management interface for a device named 'Windows機器1'. The interface includes a search bar at the top left, a list of devices, and a detailed view of the selected device. The detailed view is divided into several sections, each highlighted with a red box and a number:

- 1 管理情報**: Contains the device name 'Windows機器1', the owner '(なし)', and an '編集' (Edit) button.
- 2 エージェント**: Displays agent information including 'エージェントバージョン' (6.0.0.11), '通信日時' (2014/03/10 22:52:07), and '認証日時' (2014/03/10 17:34:58).
- 3 OS**: Shows the 'OSバージョン' as 'Microsoft Windows 7 Professional Service Pack 1 (64 ビット)'.
- 4 ネットワーク**: Displays the 'グローバルIPアドレス'.
- 5 Zone Management**: Shows the 'ゾーン' as 'ゾーン1' and the 'ポリシー' as 'ポリシー1'.
- 6 ログ**: Contains a link to 'この機器のログを確認' (Check the log of this device).

The interface also features a top navigation bar with tabs for '管理' (Management), '機器' (Devices), 'アプリ' (Apps), 'セキュリティ' (Security), and 'その他' (Others). A '同期' (Sync) button is located in the top right corner.

項番	対象	説明
1	管理情報	機器名、所属、機器カスタム項目が表示されます。[編集]をクリックすると、管理情報を編集することができます。
2	エージェント	<p>エージェント情報が表示されます。</p> <p>全 OS 共通で表示される項目：エージェントバージョン、認証日時</p> <p>Android、Windows のみ：通信日時</p> <p>Android のみ：位置情報取得</p> <p>iOS のみ：アクティベーションコード、通信日時(MDM 構成プロファイル)、通信日時(エージェント)、通信日時(ブラウザー)、MDM 構成プロファイル同期不可検知日時、エージェント同期不可検知日時</p> <p>※iOS の場合、iOS エージェントがインストールされていないとエージェントバージョンは表示されません。</p> <p>※アクティベーションコードは、iOS の場合のみ、ライセンス認証後に表示されます。手動でエージェント認証を行う場合、認証時に必要なコードになります。ライセンス認証後や、ポータル画面からエージェント認証を行う場合は、入力不要です。</p> <p>※通信日時が赤字表示されている機器は、無通信検知された機器です。</p> <p>※通信日時が赤字表示かつ、末尾に「(管理外)」と表示されている機器は、管理外検知された機器です。</p> <p>※通信日時(エージェント)及び通信日時(ブラウザー)は、管理外検知されても赤字表示されません。iOS の通信日時の詳細は、以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通信日時(MDM 構成プロファイル)：MDM 構成プロファイルの通信日時が表示されます。 ・通信日時(エージェント)：iOS エージェントの通信日時が表示されます。iOS エージェントがインストールされていない場合は(なし)と表示されます。 ・通信日時(ブラウザー)：DM Browser の通信日時が表示されます。DM Browser がインストールされていない場合は(なし)と表示されます。 ・MDM 構成プロファイル同期不可検知日時：管理サイトと MDM 構成プロファイルが同期できない状態と検知された場合に、検知した日時が表示されます。管理サイトと同期が出来ている場合は(なし)と表示されます。 ・エージェント同期不可検知日時：管理サイトとエージェントが同期できない状態と検知された場合に、検知した日時が表示されます。管理サイトと同期が出来ている場合、もしくは管理外検知されている場合は(なし)と表示されます。 <p>※MDM 構成プロファイルまたはエージェント同期不可検知日時が表示された場合の対応方法については、「FAQ マニュアル」の「よくある質問と回答-管理サイト FAQ-Q24」を参照してください。</p>
3	OS	<p>OS バージョンが表示されます。</p> <p>例：Android 4.1.2、iOS 8.0.0、Microsoft Windows 7 Professional Service Pack 1(32 ビット)</p> <p>※OS バージョンで機器の検索をする際は、英字やカタカナの全角半角等を機器のバージョン名と全く同じ値で入力してください。文言が同じでも全角半角等が異なる場合、検索結果に表示されません。</p> <p>※Winodws10 の場合は、バージョン情報(バージョン、ビルド番号)が表示されます。</p> <p>※Windows10 以外の場合は、ビルド番号が表示されます。</p>
4	ネットワーク	グローバル IP アドレスが表示されます。
5	Zone Management	<p>Zone Management で適用した「ゾーン」と「ポリシー」名が表示されます。</p> <p>「ゾーン」と「ポリシー」の設定は、「管理サイト ユーザーマニュアル 各種設定」の「Zone Management」を確認して下さい。</p>
6	ログ	[この機器のログを確認]をクリックすると、表示されている機器のログを確認することができます。

※機器の事前登録を行わずに、機器のライセンス認証を行った場合、機器名の命名規則は以下のとおりです。

上から順に機器名の生成を行い、生成できた機器名を採用します。

- ・電話番号がある場合、「機器名 [電話番号]」
- ・IMEI(MEID)がある場合、「機器名 [IMEI / MEID]」。iOS 端末は「機器名 [IMEI]」と命名。
- ・Wi-Fi がある場合、「機器名 [MAC アドレス]」
- ・その他の場合、「機器名」

※機器の事前登録に関しては以下を参照してください。

⇒機器を新規作成する 23 ページ

2.3.2.1 管理情報を編集する

機器情報を編集します。入力項目に関しては「機器を新規作成する」と同様です。

ただし、端末識別情報についてはライセンス認証待ちの機器のみ編集可能です。

※機器の新規作成に関しては以下を参照してください。

⇒機器を新規作成する 23 ページ

1. 機器一覧より対象とする機器をクリックします。
2. [編集]をクリックします。

2.3.2.2 機器のログを確認する

クリックするとログ画面が表示されます。確認できるログは、選択した機器のログのみとなります。

※ログ画面の詳細は以下を参照してください。

⇒「管理サイト ユーザーマニュアル 各種設定」の「管理ーログ」

1. 機器一覧より対象とする機器をクリックします。
2. [この機器のログを確認]をクリックします。

2.3.3 機器

機器状態の確認が行えます。OS によって表示する情報が一部異なります。

当画面で行う固有操作はありません。

【Android 機器の場合】

Android機器1 [REDACTED]

Android機器ABC

リスト表示 ⇄

同期

管理

機器

アプリ

位置

パッケージ

その他 ▾

操作 ▾

基本

モデル名

Android機器ABC

電話番号

[REDACTED]

ネットワークモード

Wi-Fi

ネットワークオペレーター

[REDACTED]

IMEI / MEID

[REDACTED]

ファームウェアバージョン

2.2

ビルド番号

FROYO.0MJJ1

シリアル番号

(Unknown)

ネットワーク - eth0

バッテリー

バッテリー残量

100%

バッテリー状態

充電中

スクリーンロック

パスワードのポリシー

制限なし

パスワードの再利用

制限なし

パスワードの有効期限

制限なし

自動ロックまでの時間

自動ロックしない

ロック解除失敗時の設定

リモートロック／ワイプを行わない

リモートロック

対象	説明
機器情報	機器一覧より選択した機器情報が表示されます。 ※「ネットワーク」タブに表示される SSID は、Android OS のバージョンにより二重引用符などの記号付きで表示される可能性があります

表示される内容は以下の通り。

※情報が取得できない場合は(Unknown)と表示されます。

パネル名	項目名	表示内容
基本	モデル名	モデル名が表示されます。
	電話番号	電話番号が表示されます。
	ネットワークモード	ネットワークモードが表示されます。
	ネットワークオペレーター	ネットワークオペレーター(ネットワーク事業者)が表示されます。
	IMEI/MEID	IMEI/MEID が表示されます。
	ファームウェアバージョン	ファームウェアバージョンが表示されます。
	ビルド番号	ビルド番号が表示されます。
	シリアル番号	シリアル番号が表示されます。
ネットワーク ※検知されたネットワークごとにパネルを表示。	パネルタイトル	ネットワーク表示名が表示されます。形式:「ネットワーク - 表示名」。
	SSID	ネットワーク- wlan0 の場合のみ、SSID が表示されます。
	MAC アドレス	「XX:XX:XX:XX:XX:XX」形式の MAC アドレスが表示されます。
	IP アドレス	IP アドレスが表示されます。 ※形式(IPv4): 「NNN.NNN.NNN.NNN/NN」 ※形式(IPv6): 「XX:XX:....XX」 ※IP アドレスが 0 個の場合は空欄。
Bluetooth	状態	「有効」または「無効」が表示されます。
位置情報	無線ネットワーク	「有効」または「無効」が表示されます。
	GPS 機能	「有効」または「無効」が表示されます。
Device Owner Mode	状態	「有効」または「無効」が表示されます。 サポートされていない場合は「非対応」と表示されます。
デバイス管理者権限	デバイス管理者権限	Android エージェントへのデバイス管理者権限付与状態が、「有効」または「無効」で表示されます。 ※無効の場合は、以下の機能が動作しません。 ・エージェントアンインストール抑止 ・リモートロック (Android 6.x以降の場合、Android 標準ロック画面のみ動作しません。 本製品独自のリモートロック画面は無効化されても動作します。) ・リモートワイプ ・スクリーンロックのパスワードポリシー強制 ・管理サイトからのスクリーンロックのパスワード変更/リセット ・カメラ禁止(Android 4.x 以降の場合) ※デバイス管理者権限が無効化された後、端末上でエージェントを起動すると管理外通知画面が表示されます。画面に従い、デバイス管理者権限を有効化してください。
バッテリー	バッテリー残量	バッテリーの残量が%で表示されます。
	バッテリー状態	以下のいずれかが表示されます。 「不明」 「充電中」 「放電中」 「充電していません」 「満タン」
スクリーンロック	「スクリーンロック」項目については、「スクリーンロック」ポリシーを設定している場合に、そのポリシーの内容と、ポリシーに違反していないかどうかが表示されます。「スクリーンロック」ポリシーが設定されていない場合は、いずれの項目も「制限なし」と表示されます。「スクリーンロック」ポリシーについての詳細は「管理サイト ユーザーマニュアル Android」の「スクリーンロック」を参照してください。	
	パスワードのポリシー	以下のいずれかが表示されます。 不特定の場合: 「制限なし」 ポリシーを満たしている場合: 「端末は以下のポリシーを満たしています 解除方法: (ポリシーで設定した解除方法) 文字数: (ポリシーで設定した文字数)」 ポリシーを満たしていない場合: 「端末は以下のポリシーを満たしていません 解除方法: (ポリシーで設定した解除方法) 文字数: (ポリシーで設定した文字数)」
	パスワードの再利用	○回前までのパスワード、または「制限なし」が表示されます。
	パスワードの有効期限	「○日」または「制限なし」が表示されます。

パネル名	項目名	表示内容
	自動ロックまでの時間	「〇分」または「自動ロックしない」が表示されます。
	ロック解除失敗時の設定	以下のいずれかが表示されます。 「〇回失敗でリモートロック」 「〇回失敗でワイプ」 「リモートロック／ワイプを行わない」 「〇回失敗でリモートロック」が設定されており、ロックメッセージが設定されている場合は、ロックメッセージもあわせて表示されます。
リモートロック	状態	「ロックされています」または「解除されています」が表示されます。
暗号化	状態	暗号化状態について、以下のいずれかが表示されます。 「端末が非対応です」 「暗号化されていません」 「暗号化中です」 「暗号化されています」
root 化	状態	「root 化状態」または「問題なし」が表示されます。
	検知内容	状態が「root 化状態」の場合、以下のいずれかが表示されます。 「su コマンドが存在します」 「setuid されたコマンドが存在します」 「root 化アプリケーション(アプリケーション名)がインストールされています」 状態が「問題なし」の場合は、「問題なし」と表示されます。

【iOS 機器の場合】



機器1

[aa:bb:cc:01:dd:02]

iPad (4.3.5)

同期

管理

機器

アプリ

プロフィール

その他

操作

基本

監視対象

バッテリー

ストレージ

スクリーンロック

デバイス名

iPad

電話番号

(Unknown)

現在のキャリアネットワーク名

(Unknown)

ホームのキャリアネットワーク名

(Unknown)

IMEI

(Unknown)

MEID

(Unknown)

OSバージョン

8.1.2

ビルドバージョン

12B440

モデル名

iPad

モデル番号

監視対象

監視対象

有効

バッテリー

バッテリー残量

19%

ストレージ

デバイス容量

11.880 GB

利用可能なデバイス容量

10.103 GB

iCloudバックアップ

無効

前回のiCloudバックアップ日時

(Unknown)

スクリーンロック

パスコード保護

対象	説明
機器情報	機器一覧より選択した機器情報が表示されます。

※端末や、OS、キャリアの組み合わせによっては、「現在のキャリアネットワーク名」が Unknown になる場合がございます。

※iOS8 の端末でライセンス認証を行うと、「現在のキャリアネットワーク名」が Unknown になります。

表示される内容は以下の通り。

※情報が取得できない場合は(Unknown)と表示されます。

パネル名	項目名	表示内容
基本	デバイス名	デバイス名が表示されます。
	電話番号	電話番号が表示されます。
	現在のキャリアネットワーク名	現在のキャリアネットワーク名が表示されます。
	ホームのキャリアネットワーク名	ホームのキャリアネットワーク名が表示されます。
	IMEI	IMEI が表示されます。
	MEID	MEID が表示されます。
	OS バージョン	OS バージョンが表示されます。
	ビルドバージョン	ビルドバージョンが表示されます。
	モデル名	モデル名が表示されます。
	モデル番号	モデル番号が表示されます。
	モデムファームウェアバージョン	モデムファームウェアバージョンが表示されます。
	シリアル番号	シリアル番号が表示されます。
	ExchangeActiveSync デバイス ID	ExchangeActiveSync デバイス ID が表示されます。
	MDM プロファイルトピック	MDM プロファイルトピックが表示されます。
	UDID	UDID が表示されます。
ネットワーク	Bluetooth MAC アドレス	「XX:XX:XX:XX:XX:XX」形式の MAC アドレスが表示されます。
	Wi-Fi MAC アドレス	「XX:XX:XX:XX:XX:XX」形式の MAC アドレスが表示されます。
	インターネット共有(テザリング)	インターネット共有(テザリング)が、「有効」または「無効」で表示されます。
監視対象	監視対象	Apple Configurator を用いて iOS 端末を監視対象に設定している場合は、「有効」と表示され、そうでない場合は、「無効」と表示されます。
バッテリー	バッテリー残量	バッテリー残量が%で表示されます。
ストレージ	デバイス容量	デバイス容量がギガバイト単位で表示されます。
	利用可能なデバイス容量	利用可能なデバイス容量がギガバイト単位で表示されます。
	iCloud バックアップ	iCloud のバックアップが有効の場合は「有効」、無効の場合は「無効」と表示されます。
	前回の iCloud バックアップ日時	前回の iCloud バックアップ日時が「HH:MM:SS」形式で表示されます。
スクリーンロック	パスコード保護	端末にパスコードが設定されている場合は「保護されています」と表示され、設定されていない場合は、「保護されていません」と表示されます。
	パスコード準拠 (デバイス)	構成プロファイルを含む全てのパスコードポリシー設定(Apple 社が定めたものを含む)と、実際のパスコード設定が合致している場合、「準拠しています」と表示され、異なっている場合には、「準拠していません」と表示されます。
	パスコード準拠 (プロファイル)	構成プロファイルのパスコードポリシー設定と、実際のパスコード設定が合致している場合、「準拠しています」と表示され、異なっている場合には、「準拠していません」と表示されます。
OS アップデート情報	アップデートの名前	アップデートの名前が表示されます。
	アップデートのバージョン	アップデートのバージョンが表示されます。
	アップデートのビルド番号	アップデートのビルド番号が表示されます。
	重要なアップデートかどうか	重要なアップデートかどうか、「はい」「いいえ」で表示されます。
	アップデートのステータス	アップデートのステータスが表示されます。
ローミング	音声ローミング設定	「有効」または「無効」が表示されます。
	データローミング設定	「有効」または「無効」が表示されます。
	状態	「ローミング中です」または「ローミングしていません」が表示されます。
暗号化	ハードウェア暗号化レベル	パスコードが設定されている場合は「データ保護は有効です」と表示され、設定されていない場合は「データ保護は無効です」と表示されます。
Jailbreak	状態	「Jailbreak 状態」または「問題なし」が表示されます。
その他の情報	iTunesStore アカウント	「サイン済み」または「未設定」が表示されます。
	iTunesStore アカウントハッシュ	iTunesStore アカウントハッシュが表示されます。

パネル名	項目名	表示内容
	アクティベーションロック	アプリ「iPhone を探す」のアクティベーションロックの状態を「有効」または「無効」で表示します。
	Bypass Code	Bypass Code が表示されます。
	ロケータサービス	位置情報を使ったサービス(※「iPhone を探す」等)の設定状況を示します。 「有効」または「無効」が表示されます。
	おやすみモード	「有効」または「無効」が表示されます。
	紛失モード	「有効」または「無効」が表示されます。
	Shared iPad 設定	「有効」または「無効」が表示されます
	Shared iPad ユーザー最大数	Shared iPad 設定が「有効」の場合、ユーザー最大数が表示されます。

【Windows 機器の場合】

The screenshot displays the Windows device management interface. At the top, there is a header with a Windows logo and a '同期' (Sync) button. Below the header is a navigation bar with tabs: '管理' (Management), '機器' (Devices), 'アプリ' (Apps), 'セキュリティ' (Security), '位置' (Location), and 'その他' (Others). A '操作' (Actions) dropdown menu is also present. The main content area is divided into two columns. The left column, titled '基本' (Basic), lists system information: 'コンピューター名' (Computer name), 'ワークグループ' (Workgroup), 'ドメイン' (Domain), 'Windowsバージョン' (Windows version), 'WindowsプロダクトID' (Windows product ID), 'システム製造元' (System manufacturer), 'システムモデル' (System model), and 'シリアル番号' (Serial number). The right column, titled 'ハードウェア' (Hardware), lists hardware details: '種別' (Type) as 'デスクトップ' (Desktop), 'CPU' as 'cpuname (4.00GHz)', 'メモリ' (Memory) as '95.37 MB', 'マザーボード' (Motherboard) as 'motherboard', 'ビデオカード' (Video card) as 'videoboard', and 'TPM' as 'version 1.0.0'. Below the hardware section is a 'BIOS' section with the 'メーカー' (Manufacturer) listed as 'manufacturer'.

対象	説明
機器情報	機器一覧より選択した機器情報が表示されます。

※ドメインに参加している PC の場合、パスワードポリシーのパネルには(Unknown)と表示されます。


表示される内容は以下の通り。

※情報が取得できない場合は(Unknown)と表示されます。

パネル名	項目名	表示内容
基本	コンピューター名	コンピューター名が表示されます。
	ワークグループ	ワークグループ名が表示されます。コンピューターがワークグループに参加しているときのみ表示されます。
	ドメイン	ドメイン名が表示されます。コンピューターがドメインに参加しているときのみ表示されます。
	Windows バージョン	Windows バージョン、ビルド番号が表示されます。Windows10 以外の場合は、バージョンが表示されません。
	Windows プロダクト ID	Windows プロダクト ID が表示されます。
	システム製造元	システム製造元が表示されます。
	システムモデル	システムモデル名が表示されます。
	シリアル番号	シリアル番号が表示されます。
	コンピューターSID	コンピューターSID が表示されます。
ネットワーク ※検知されたネットワークごとにパネルを表示。	パネルタイトル	ネットワーク表示名が表示されます。形式:「ネットワーク - 表示名」。
	NIC 名	NIC 名が表示されます。
	接続方法	「有線」、「無線」、「モバイル」、「Bluetooth」のいずれかが表示されます。
	MAC アドレス	「XX:XX:XX:XX:XX:XX」形式の MAC アドレスが表示されます。
	IP アドレス	IP アドレスが表示されます。 ※形式(IPv4): 「NNN.NNN.NNN.NNN/NN」 ※形式(IPv6): 「XX:XX:...:XX」 ※IP アドレスが 0 個の場合は空欄。
	デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイが表示されます。 ※0 個の場合は「(なし)」。
	DHCP	「有効」または「無効」が表示されます。
	DHCP サーバー	DHCP サーバーの IP アドレスが表示されます。
	DNS サーバー	DNS サーバーの IP アドレスが表示されます。 ※0 個の場合は「(なし)」。
	DNS サフィックス	DNS サフィックス名が表示されます。 ※0 個の場合は「(なし)」。
	ネットワーク	グローバルネットワーク名が表示されます。グローバルネットワーク名をクリックすると、ネットワーク画面へリンクします。 外部ネットワークに繋がっていない NIC の場合は、「(なし)」と表示され、外部ネットワークに繋がっているが当該のネットワークがネットワーク画面で登録されていない場合は、「未作成」と表示されます。 ネットワーク画面の詳細については「管理サイト ユーザーマニュアル 機器」の「ネットワーク」を参照してください。
	電話番号	SIM カード情報が存在する場合は、電話番号が表示されます。
	現在のキャリアネットワーク	SIM カード情報が存在する場合は、キャリアネットワークが表示されます。
	IMEI / MEID	SIM カード情報が存在する場合は、IMEI/MEID が表示されます。
プリンター ※検知されたプリンターごとにパネルを表示。	名前	プリンター名が表示されます。
	ポート	ポート番号が表示されます。
ハードウェア	種別	「デスクトップ」、「ノート PC」、「タブレット」、または「その他」が表示されます。
	CPU	CPU 名、クロック数(GHz 単位で小数点以下 2 桁まで表示)が表示されます。
	メモリ	メモリサイズが表示されます。小数点以下 2 桁まで表示。
	マザーボード	マザーボード名が表示されます。※検知されたマザーボードごとに表示。
	ビデオカード	ビデオカード名が表示されます。
	TPM	TPM のバージョンが表示されます。
BIOS	メーカー	メーカーが表示されます。
	バージョン	バージョンが表示されます。
	日付	日付が表示されます。 ※「YYYY/mm/dd」形式。 ※タイムゾーンに依らず取得した日付をそのまま表示。

パネル名	項目名	表示内容
ドライブ ※検知されたドライブごとにパネルを表示。 ※パネル名にドライブ文字を表示。	パネルタイトル	ドライブ表示名が表示されます。形式:「ドライブ -_表示名」。
	総容量	総容量が表示されます。 ※小数点以下 3 桁まで表示。
	空き容量	空き容量が表示されます。 ※小数点以下 3 桁まで表示。
ログオンユーザー ※検知されたユーザーごとにパネルを表示。	ユーザー名	ユーザー名が表示されます。
	SID	SID が表示されます。
	既定の Web ブラウザー名前	既定の Web ブラウザーの名称が表示されます。
	既定の Web ブラウザーバージョン	既定の Web ブラウザーのバージョンが表示されます。
	既定の電子メールプログラム名前	既定の電子メールプログラムの名称が表示されます。
	既定の電子メールプログラムバージョン	既定の電子メールプログラムのバージョンが表示されます。
	通常使うプリンター 名前	通常使うプリンターの名称が表示されます。
	通常使うプリンター ポート	通常使うプリンターのポートが表示されます。
パスワードポリシー	文字数	パスワードポリシーの文字数が表示されます。「該当の数値+文字以上」で表示。
	有効期限	パスワードポリシーの有効期限が表示されます。「該当の数値+日」で表示。
	履歴記録数	パスワードポリシーの履歴記録数が表示されます。「該当の数値+個」で表示。
	変更禁止期間	パスワードポリシーの変更禁止期間が表示されます。「該当の数値+日」で表示。
	複雑なパスワードを強制する	「有効」または「無効」が表示されます。
リモートロック	状態	リモートロック状態が表示されます。「ロックされています」または「解除されています」を表示。

【資産管理対象機器の場合】


XXXXXXXXXX

管理

機器検出

操作 ▼

基本

デバイス名

XXXXXXXXXX

IPアドレス

OS名

(Unknown)

最終検出日時

2012/11/01 16:17:22

プリンター

用紙ユニット

(なし)

トナー

名称	残量
black ink cartridge	0%
tri-color ink cartridge	0%

カウンター

25

エラー

(なし)

類推結果1

メーカー名

XXXXXXXXXX

モデル名

XXXXXXXXXX

型番

XXXX

種別

プリンター

対象	説明
機器情報	機器一覧より選択した機器情報が表示されます。

※MFP(Multifunction Peripheral/Printer/Product、プリンター複合機)等の情報は、MIB(Management Information Base、管理情報ベース)から情報を取得します。MFPの設定によっては、「プリンター」情報が取得できないケースもございますので、予めご了承ください。

表示される内容は以下の通り。

※情報が取得できない場合は(Unknown)と表示されます。

パネル名	項目名	表示内容
基本	デバイス名	デバイス名が表示されます。
	IP アドレス	IP アドレスが表示されます。
	OS 名	OS 名が表示されます。
	最終検出日時	最終検出日時が表示されます。
類推結果	メーカー名	メーカー名が表示されます。
	モデル名	モデル名が表示されます。
	型番	型番が表示されます。
	種別	機器の種別が表示されます。
プリンター ※プリンター拡張情報がある場合のみ表示されます。	用紙ユニット	用紙ユニット一覧が表示されます。 用紙ユニットがない場合は、「(なし)」と表示されます。
	トナー	トナー一覧が表示されます。 トナーがない場合は、「(なし)」と表示されます。
	カウンター	カウンターが表示されます。 データがない場合は、「(なし)」と表示されます。
	エラー	エラーが表示されます。 形式：「エラー内容 (エラーコード)」 エラーがない場合は、「(なし)」と表示されます。

2.3.4 アプリ

機器にインストールされているアプリケーションの確認、アプリケーションメモへの追加が行えます。なお、iOS 機器にプリインストールされているアプリケーションは、当画面で確認することができません。

【Android 機器の場合】



メモ	アプリケーション	バージョン名	メモリサイズ	詳細
	AccuWeather Clock	10.09.09.01	0 Byte	詳細
	Adobe Flash Player 10.1	10.1.92.8	8.3 MB	詳細
	AllShare	1.2.0	0 Byte	詳細
	Androidシステム	2.2	0 Byte	詳細
	Androidライブ壁紙	2.2	0 Byte	詳細
	Apple	1.0	4.0 KB	詳細
	Aurora	1.2.5	0 Byte	詳細
	Backup	2.0.0.84	1.5 MB	詳細
	BadgeProvider	1.0	8.0 KB	詳細
	Beach	1.1.0	44.0 KB	詳細
	Blue sea	1.2.5	0 Byte	詳細
	BluetoothTest	1.0	0 Byte	詳細
	Bluetoothで印刷	1.0	0 Byte	詳細
	BrcmBluetoothServices	1.0	0 Byte	詳細
	Buddies now	1.0	0 Byte	詳細
	Camera Firmware	1.0	0 Byte	詳細
	ChocoEUKor	1.0	4.0 KB	詳細
	com.android.providers.applications	2.2	0 Byte	詳細
	com.android.providers.userdictionary	2.2	0 Byte	詳細
	com.google.android.feedback	2.2	80.0 KB	詳細

項番	対象	説明
1	[メモ]	アプリケーションメモに追加されます。
2	アプリケーション	アプリケーション名が表示されます。アプリケーション名がバージョンアップにより変更された場合は、変更後のアプリケーション名が表示されます。
3	[詳細]	アプリケーションの詳細が確認できます。

2.3.4.1 アプリケーションメモに追加する(Android 機器)

アプリケーションメモとは、アプリケーション禁止機能の設定にて利用できる、入力補助の仕組みです。アプリケーション禁止機能の[メモから追加]をクリックした際にアプリケーション一覧に表示されます。アプリケーションメモは管理サイトにログインしているユーザー単位で保持します。機器単位ではありません。

※アプリケーション禁止に関しては以下を参照してください。

⇒「管理サイト ユーザーマニュアル Android」の「Android-使用制限－アプリケーション禁止」

1. 機器一覧よりアプリケーション確認対象とする機器をクリックします。
2. アプリタブをクリックします。
3. メモに追加したいアプリケーションのメモアイコンをクリックしてカラー表示にします。
4. ※カラー表示のメモアイコンをクリックするとグレー表示となり、アプリケーションメモから削除されます

2.3.4.2 アプリケーションの詳細を確認する(Android 機器)

アプリケーション名やバージョン番号、インストール日時などが確認できます。

1. 機器一覧よりアプリケーション確認対象とする機器をクリックします。
2. アプリタブをクリックします。
3. 詳細を確認したいアプリケーションの[詳細]をクリックします。

【iOS 機器の場合】



機器1 [aa:bb:cc:01:dd:02]

iPad (4.3.5)

同期

管理

機器

アプリ

プロファイル

その他

操作

表示されないアプリケーションについて

アプリケーション名	バージョン	メモリサイズ	1 詳細
IMDb	2.5	9.6 MB	詳細
iBooks	800	51.8 MB	詳細
StockMap	2.0.0	2.5 MB	詳細

項番	対象	説明
1	[詳細]	アプリケーションの詳細が確認できます。

2.3.4.3 アプリケーションの詳細を確認する(iOS 機器)

アプリケーション名やアプリケーション ID、バージョンなどが確認できます。

1. 機器一覧よりアプリケーション確認対象とする機器をクリックします。
2. アプリタブをクリックします。
3. 詳細を確認したいアプリケーションの[詳細]をクリックします。

【Windows 機器の場合】

Windows機器1

同期

管理 機器 アプリ セキュリティ その他

操作

1 種別: ☒ アプリケーション ☒ アプリケーション更新プログラム

2 表示

アプリケーション	バージョン	アプリケーションサイズ	3 詳細
Norton Internet Security	22.5.0.124	0 Byte	詳細
Optimal Biz 7.4.0	7.4.0	40.0 MB	詳細
Optimal Remote Client	25.7000	25.2 MB	詳細
		5.1 MB	詳細
インテル(R) グラフィックス・ドライバー	10.18.14.4029	74.2 MB	詳細

項番	対象	説明
1	種別	[表示]をクリックした際に表示する内容を絞り込みます。
2	[表示]	クリックすると表示内容を更新します。
3	[詳細]	アプリケーションの詳細が確認できます。

2.3.4.4 アプリケーション一覧を更新する(Windows 機器)

アプリケーション一覧を更新します。

1. 機器一覧よりアプリケーション確認対象とする機器をクリックします。
2. アプリタブをクリックします。
3. 種別を指定します。
4. [表示]をクリックします。

2.3.4.5 アプリケーションの詳細を確認する(Windows 機器)

アプリケーション名やバージョン、インストール日などが確認できます。

1. 機器一覧よりアプリケーション確認対象とする機器をクリックします。
2. アプリタブをクリックします。
3. 詳細を確認したいアプリケーションの[詳細]をクリックします。

2.3.5 セキュリティ(Windows 機器のみ)

自動更新やファイアウォールなど、Windows のセキュリティに関する機能の状態を表示します。状態の確認のみが可能であり、設定変更等はできません。

※Windows Server では、ウイルス対策ソフト、スパイウェア対策ソフトの状況は取得できません。

The screenshot displays the Windows Security management interface. At the top, there is a '同期' (Sync) button. Below it, a navigation bar includes '管理' (Management), '機器' (Devices), 'アプリ' (Apps), 'セキュリティ' (Security), '位置' (Location), and 'その他' (Others). The 'セキュリティ' (Security) tab is selected, showing a list of security features. Each feature is highlighted with a red box and a numbered label:

- 1 Windows自動更新**
更新プログラムを自動的にインストールする (毎日 09:00)
- 2 ファイアウォール**
名前: [redacted] 状態: 有効
- 3 ウィルス対策ソフト**
名前: [redacted] 状態: 有効 定義ファイル: 最新 エンジンバージョン: [redacted] パターンファイルバージョン: [redacted]
- 4 スパイウェア対策ソフト**
名前: [redacted] 状態: 有効 定義ファイル: 最新
[redacted] 状態: 無効 定義ファイル: 古い
- 5 スクリーンセーバー**
ログオンユーザー名: [redacted] 設定: 有効 パスワードロック: 有効 起動までの時間: 30秒
- 6 ドライブ暗号化**
ドライブ名: D BitLocker 状態: 有効 暗号化進捗: 暗号化済み 回復キー: aaaaaaaa

項番	対象	説明
1	Windows 自動更新	機器に設定されている Windows 自動更新の設定値を表示します。
2	ファイアウォール	機器に導入されているファイアウォールの状態を表示します。
3	ウイルス対策ソフト	機器に導入されているウイルス対策ソフトの状態を表示します。 エンジンバージョンおよびパターンファイルバージョンの表示については、以下の製品にのみ対応しています。 ・ウイルスバスターコーポレートエディション 8(日本語版) ・ウイルスバスターコーポレートエディション 10(日本語版) ・Windows Defender
4	スパイウェア対策ソフト	機器に導入されているスパイウェア対策ソフトの状態を表示します。
5	スクリーンセーバー	機器に設定されているスクリーンセーバーの設定値を表示します。
6	ドライブ暗号化	各ドライブの暗号化(「管理サイト ユーザーマニュアル Windows」の「Windows-セットアップ-暗号化」を参照)状況および回復キーを表示します。回復キーはパスワードを忘れた場合や、コンピューターの構成が変更された場合に用いるパスワードです。詳細については Microsoft お問い合わせください。

2.3.6 位置(Android/iOS/Windows 機器のみ)

機器から送られた位置情報を確認できます。

管理サーバーに位置情報送信を一度も行っていない機器については、位置タブの表示自体が行われません。


位置情報の諸条件については、OS 毎に異なりますので「位置情報の諸条件」47 ページを参照してください。

【注意事項】


- ◆本機能は Android、iOS、Windows 端末のみ有効です。
- ◆本製品から機器の GPS を強制的に ON にすることはできません。
- ◆取得した位置情報の精度が低い場合は、破棄しており、管理サイトには反映されません。
- ◆Android8 の場合は、位置情報の取得が 1 時間に 1 回程度へ制限されます。

【参考ページ】

◇Android エージェントの設定に関して⇒「Android ユーザーマニュアル」位置情報取得の設定を行う

 iPhone

iPhone (7.0.4)

 同期

管理

機器

アプリ


プロフィール

位置

その他

操作

1



 位置情報を更新


※iOS7.0以降 / エージェントバージョンが5.9.0以降の端末でのみ対応

2

受信日時2016/08/26 15:30:00 測位日時2016/08/26 15:24:57
北緯35.63042° 東経139.74549°

4

 1/1 



品川

港南1

・ソニー本社

新港南橋

港南2

・中央卸売市場

・インターシティ

・グランドcommons

港南3

港南小・中

東京海洋大

港南四


浜路橋

海岸通り

・港

0 200m

3

Googleマップで表示 

項番	対象	説明
1	[位置情報を更新]	クリックすると位置情報が更新されます。 ※iOS 端末の場合のみ表示されます。(エージェント未認証の場合は、表示されません。また、認証済であれば紛失モード中でも表示されます。) また、位置情報更新を行えるのは、以下の条件にあてはまる場合のみです。 ・iOS エージェントバージョンが 5.9.0 以降であること
2	位置	受信日時の位置情報が地図で表示されます。 ・受信日時 管理サイトが端末から受け取った日時です。更新するには、[同期]をクリックしてください。 ・測位日時 端末が保持している位置情報を測位した時刻です。
3	[Google マップで表示]	新しいウィンドウで Google マップとして表示されます。
4	位置情報履歴件数	現在表示している位置情報の履歴の件数が表示されます。位置情報の履歴は最大 100 件まで保持されます。 [前へ]、[次へ]: ボタン部分押下で、位置情報履歴を切り替えることができます。

2.3.6.1 位置情報の諸条件

【Android 機器の場合】

Android 機器から位置情報を受信するための大前提は、以下の通りです。ご了承のうえ、位置情報の受信を行ってください。

- ・測位結果の情報は確実性を保証できる情報ではありません。
- ・測位条件は端末の仕様に準じます。
- ・送信条件は端末が管理サイトと通信できる状態であること。
- ・測位や送信は、動作条件を全て満たしていること。
- ・動作条件は、以下の一覧の記載内容を全て満たしている必要があります。

動作条件	<ul style="list-style-type: none"> ・エージェントの設定で位置情報を取得を許可していること(*1) ・端末側で「GPS による位置測位(*2)」「ネットワークによる位置測位(*3)」のいずれかによる測位を可能にしていること。
位置情報測位契機	<ul style="list-style-type: none"> ・エージェントによる測位(*4) ・他アプリ利用による測位 他アプリが位置情報を測位していた場合、利用条件に合致しなくても位置情報が管理サイトに表示されます。
位置情報送信契機	<ul style="list-style-type: none"> ・同期時(*5)

(*1)各機器の状況は、機器画面の「管理」タブの「エージェント」パネルの「位置情報取得」から確認できます。

許可されていない場合は、位置情報画面の最上部にエラーが表示されます。

(*2)以下の両方に該当する場合のみ可能です。

- ・GPS が有効
- ・3G/LTE/4G/Wi-Fi いずれかのネットワークでの通信が有効

(*3)以下の両方に該当する場合のみ可能です。

- ・ネットワーク位置情報(端末側で[位置情報サービス]または[位置情報アクセス]などの表記がある設定)が有効
- ・3G/LTE/4G/Wi-Fi いずれかのネットワークでの通信が有効

(*4)詳細は、「管理サイト ユーザーマニュアル Android」の「位置情報管理画面を表示する」の「エージェントによる測位」を参照してください。

(*5)同期処理自体にかかる時間は、負荷状態や通信状態に依存します。

【iOS 機器の場合】

iOS 機器から位置情報を受信するための大前提は、以下の通りです。ご了承のうえ、位置情報の受信を行ってください。

- ・測位結果の情報は確実性を保証できる情報ではありません。
- ・測位条件は端末の仕様に準じます。
- ・送信条件は端末が管理サイトと通信できる状態であること。
- ・動作条件は、以下の一覧の記載内容を全て満たしている必要があります。

運用可能パターン	エージェント利用で AppSwitcher 上にある(推奨)	エージェント利用で AppSwitcher 上にない(非推奨)	紛失モード
動作条件	<ul style="list-style-type: none"> ・エージェントのインストール ・エージェントの認証が済んでいる ・エージェントが起動している (AppSwitcher 上にある)状態 ・端末の「プライバシー」以下の「位置情報サービス」でアクセスが許可されていること ・端末の設定内の「App のバックグラウンド更新」において、本製品が「有効」になっていること ・iOS9.0 以降の端末の場合、「低電力モード」が無効に設定されていること(この設定を有効にすると、「App のバックグラウンド更新」が強制的に無効になるため) 	<ul style="list-style-type: none"> ・エージェントのインストール ・エージェントの認証が済んでいる ・エージェントが起動していない (AppSwitcher 上にない)状態 	<ul style="list-style-type: none"> ・エージェントアプリの有無に関係なし利用可能 ・iOS9.3 以上で、監視対象状態の端末であること
位置情報測位契機	<ul style="list-style-type: none"> ・バックグラウンドで動作している ・エージェント起動時 ・エージェント同期ボタン押下時 ・メッセージ配信受信後にメッセージ画面を表示した時 ・基地局変更時(*2) ・管理サイトの位置情報更新ボタン押下時 ・Background Fetch(*1) ・他アプリ利用による測位 	<ul style="list-style-type: none"> ・iOS の大幅位置情報変更サービスが位置情報の更新を検知したとき(*3) 	<ul style="list-style-type: none"> ・紛失モード中による測位(*5) ・端末が紛失モード状態になっていること ・管理サイトのリモート操作の位置情報取得ボタン押下時
位置情報送信契機	端末のロックの状態問わず <ul style="list-style-type: none"> ・エージェント認証時 ・エージェント同期ボタン押下時 ・メッセージ配信受信後にメッセージ画面を表示した時 ・基地局変更時(*2) ・管理サイトの位置情報更新ボタン押下時 ・Background Fetch(*1) 	<ul style="list-style-type: none"> ・端末がロックされていない状態(*4) 	端末のロックの状態問わず <ul style="list-style-type: none"> ・端末が紛失モード状態になっていること ・管理サイトのリモート操作の位置情報取得ボタン押下後に端末が受信後

(*1)詳細については、「用語集」7 ページを参照してください。

(*2)基地局の境界で通信が頻発することを防ぐため、前回の送信時間からおよそ 1 分以上経過した場合のみ送信します。また、OS 仕様の制約上、その時取得した位置情報は送信できませんので、その時に端末内に保有していた位置情報のみを送信します。

(*3)大幅位置情報変更サービスの動作条件は Apple の仕様に準じます。また、大幅位置情報変更サービスによる動作条件仕様は Apple により非公開となっています。

(*4)ロック解除後の画面になっている状態です。大幅位置情報変更サービスによる送信条件は Apple の仕様に準じます。また、大幅位置情報変更サービスによる送信条件仕様は Apple により非公開となっています。

(*5) 紛失モード中は低電力モードになります。

【Windows 機器の場合】

Windows 機器から位置情報を受信するための大前提は、以下の通りです。ご了承のうえ、位置情報の受信を行ってください。

- ・測位結果の情報は確実性を保証できる情報ではありません。
- ・測位条件は端末の仕様に準じます。
- ・送信条件は端末が管理サイトと通信できる状態であること。
- ・測位や送信は、動作条件を全て満たしていること。
- ・動作条件は、以下の一覧の記載内容を全て満たしている必要があります。

動作条件	<ul style="list-style-type: none"> ・ Windows8.1 以降 ・ エージェント Ver7.4 以降 ・ 端末の位置情報機能が有効になっていること
位置情報測位契機	<ul style="list-style-type: none"> ・ 端末の位置情報設定が OFF から ON に変更した時 ・ 同期時(*1)
位置情報送信契機	<ul style="list-style-type: none"> ・ 同期時(*1)

(*1)同期処理自体にかかる時間は、負荷状態や通信状態に依存します。

2.3.6.2 Google マップで位置情報を表示する

管理サイト上ではなく、Google マップ上で位置情報を確認することができます。

1. 機器一覧より対象とする機器をクリックします。
2. 位置タブをクリックします。
3. [Google マップで表示]をクリックします。

2.3.7 パッケージ

本製品で提供しているオプションパッケージをご利用になる場合は、ご利用になる機器に対して当画面から機能を割り当てる必要があります。なお、オプションパッケージのご利用にはお申し込みが必要となります。お申し込みをいただいていない場合は、パッケージタブの表示自体が行われません。



項番	対象	説明
1	オプションパッケージ	割り当て中のオプションパッケージが表示されます。
2	[編集]	オプションパッケージの割り当ておよび解除を行います。

2.3.7.1 機器にオプションパッケージの割り当ておよび解除を行う

オプションパッケージは指定した機器でのみ利用可能となります。なお、使用数が契約数に達している場合は、新たにオプションパッケージを割り当てることができません。使用数および契約数はトップ画面で確認できます。

※トップ画面に関しては以下を参照してください。

⇒トップ 10 ページ

1. 機器一覧より対象とする機器をクリックします。
2. パッケージタブをクリックします。
※パッケージタブが表示されていない場合は、「その他」より「パッケージ」を選択します。
3. [編集]をクリックします。
4. オプションパッケージのチェックボックスをチェックして[保存]をクリックします。解除する場合はチェックボックスからチェックを外して[保存]をクリックします。

2.3.8 ウイルス対策ソフト

本製品で提供しているウイルス対策ソフト「モバイルウイルス対策」の各種情報がご確認いただけます。当画面では情報の確認のみが可能です。インストール／アンインストールや、設定の変更は行えません。

※[モバイルウイルス対策]はオプションパッケージとしてご提供しております。

お申し込みいただいている場合は、オプションパッケージの割り当てを行うことでご利用いただけます。

⇒機器にオプションパッケージの割り当ておよび解除を行う 50 ページ

※機器にトレンドマイクロ社のセキュリティソフトがインストールされている場合は、事前にアンインストールが必要です。

※上記以外のセキュリティソフトがインストールされている場合でも、事前にアンインストールいただくことを推奨しております。

The screenshot displays the management interface for an Android device. At the top, the device is identified as 'Android機器1 [09012345678]' and 'Android機器ABC'. A '同期' (Sync) button is in the top right. Below the header is a navigation bar with tabs: '管理' (Management), '機器' (Devices), 'アプリ' (Apps), '位置' (Location), 'パッケージ' (Packages), 'その他' (Others), and '操作' (Actions). The '管理' tab is selected, showing a '保護状態' (Protection Status) section with a shield icon and the text '保護されています' (Protected). To the right, a dropdown menu is open, listing options: 'リモート操作' (Remote Control), 'ウイルス対策ソフト' (Virus Protection Software), 'ポリシー' (Policy), '設定' (Settings), and 'メッセージ' (Message). Below the protection status, a '基本' (Basic) section is highlighted with a red box, containing details about the virus protection software: 'ウイルス対策ソフト名' (Virus Protection Software Name), 'ウイルス対策機能' (Virus Protection Function) - 有効 (Enabled), 'アプリケーションバージョン' (Application Version) - 1.0, 'パターンファイルバージョン' (Pattern File Version) - 1.279.00, 'パターンファイル最終更新チェック日時' (Pattern File Last Update Check Date/Time) - 2012/07/22 20:51:06, 'パターンファイル最終更新日時' (Pattern File Last Update Date/Time) - 2012/07/22 20:51:06, 'スキャン最終実行日時' (Scan Last Execution Date/Time) - 2012/07/23 12:00:11, and '状態取得日時' (Status Acquisition Date/Time) - 2012/07/24 10:08:35. A 'ログ' (Log) section is also visible, showing 'ウイルス対策ソフトの' (Virus Protection Software's).

項番	対象	説明
1	保護状態	ウイルス対策ソフトのインストール状態が表示されます。 ※保護状態の表示が管理サイトと端末で異なる場合があります。 ⇒「FAQ マニュアル」の「よくある質問と回答－管理サイト FAQ－Q16 ウイルス対策ソフトの保護状態が、管理サイトと端末で異なっています」を参照してください。
2	基本	ウイルス対策ソフトの詳細が表示されます。ウイルス対策ソフトをインストールしていない場合は表示されません。
3	ログ	ウイルス対策ソフトのログを確認できます。

2.3.8.1 ウイルス対策ソフトのログを確認する

インストールしているウイルス対策ソフトのログを確認します。確認できるログは、選択した機器のログのみとなります。
⇒「管理サイト ユーザーマニュアル 各種設定」の「管理－ログ」を参照してください。

1. 機器一覧より対象とする機器をクリックします。
2. その他タブよりウイルス対策ソフトをクリックします。
3. [ウイルス対策ソフトのログを確認]をクリックします。

※管理サイトと端末側で保護状態の表示内容が異なる場合があります。
これは保護状態に“保護されています”と表示する条件が管理サイトと端末側で異なるためです。
それぞれが保護されていると表示する条件は、以下のとおりです。

管理サイト	端末
以下をすべて満たした場合。 ① ウイルス対策ソフトがインストールされている ② 「ウイルス対策機能」が「有効」となっている ③ 「パターンファイル最終更新チェック日時」が「状態取得日時」の2週間以内 ④ 「スキャン最終実行日時」が、「状態取得日時」の2週間以内	以下をすべて満たした場合 ① リアルタイムスキャンの設定状態が「有効」である ② 自動アップデートの設定状態が「有効」である ③ 初回インストールの時に、手動検索を完了させる (途中でキャンセルしたり、失敗した場合は、「保護されていません」とでますが、その後、1度でも手動検索を遂行すれば、「保護されています」に変わる)

2.3.9 クライアント証明書(Android/iOS/Windows 機器のみ)

Android/iOS/Windows 機器に対し、クライアント証明書をインストールすることが可能です。

※本機能は Android4.0～4.4、5.0、5.1、6.0、iOS8.0 以降、Windows は Windows 7 以降に対応しています。

※当画面で設定を行う場合は事前に証明書の登録が必要となります。証明書の登録については以下を参照してください。

⇒「管理サイト ユーザーマニュアル 各種設定」の「証明書管理－クライアント証明書管理」

⇒「管理サイト ユーザーマニュアル 各種設定」の「証明書管理－クライアント証明書一括アップロード」

※証明書を機器にインストールするためには、PIN またはパスワードなどのスクリーンロック設定が必要です。

Android 機器でスクリーンロック設定がされていない場合には、設定を要求するメッセージが表示されますので、設定をおこなってください。また、スクリーンロック設定を無効にするには、証明書をアンインストールする必要があります。

※各種設定は次回の同期時に機器へ反映されます。お急ぎの場合は手動で同期を行ってください。



項番	対象	説明
1	設定内容	現在の設定内容が表示されます。
2	[編集]	設定を作成します。既に設定がされている場合は、[編集]および[削除]が表示されます。

2.3.9.1 クライアント証明書を新規作成する

クライアント証明書を新規作成します。

※クライアント証明書は事前に登録が必要です。以下のページを参照し、登録を行ってください。

⇒「管理サイト ユーザーマニュアル 各種設定」の「証明書管理－クライアント証明書管理」

⇒「管理サイト ユーザーマニュアル 各種設定」の「証明書管理－クライアント証明書一括アップロード」

※不正なクライアント証明書が設定されている場合は、エラーメッセージが表示されます。メッセージの案内に沿って、適切な対応を行ってください。

1. 機器一覧より対象とする機器をクリックします。
2. その他タブよりクライアント証明書をクリックします。
3. [編集]をクリックします。
4. 既存のクライアント証明書を選択します。
5. [保存]をクリックします。

2.3.9.2 クライアント証明書を編集する

機器に設定されているクライアント証明書を編集します。入力項目に関しては、「クライアント証明書の入力値」55 ページを参照してください。

1. 機器一覧より対象とする機器をクリックします。
2. その他タブよりクライアント証明書をクリックします。
3. [編集]をクリックします。
4. 既存のクライアント証明書を選択します。
5. [保存]をクリックします。

2.3.9.3 クライアント証明書を削除する

機器に設定されているクライアント証明書を削除します。

1. 機器一覧より対象とする機器をクリックします。
2. その他タブよりクライアント証明書をクリックします。
3. [削除]をクリックします。
4. 確認画面で[OK]をクリックします。

2.3.9.4 クライアント証明書の入力値

クライアント証明書では以下の入力ルールで設定を行います。

項目名	ルール
クライアント証明書	アップロード済みの証明書を指定します。
使用する証明書ストア	Windows での注意：証明書のインストール先を「ユーザー」または「コンピューター」から選択します。 「ユーザー」を選択した場合は「インストール先のユーザー名」として証明書を配布するユーザーを指定します。「ユーザー」が空欄である場合、機器のユーザーは証明書をインストールする際にインストール先のユーザーを選択することが可能です。この設定は意図しないユーザーに証明書を付与してしまう原因となりますので、十分に注意して設定してください。

2.3.10 設定

SDカードの利用を禁止する／カメラの利用を禁止する／リモートロックを行う／リモートワイプを行うなど、機器の動作を制限することが可能です。これらを行うには、事前に制限内容を「設定セット」で指定しておき、この設定セットを機器に適用することにより、機器の制限が実現されます。当画面では、機器に対して設定テンプレートまたは設定セットの適用および適用状態の確認を行うことができます。

※各設定セットにはデフォルトで「所属組織に従う」設定が指定されています。所属組織に設定テンプレートが割り当てられている場合、設定テンプレートの設定が自動的に各端末に適用されます。

※設定テンプレートおよび設定セットの作成については以下を参照してください。

⇒メニュー 86 ページ以降

※当画面では単一の機器を対象としています。複数の機器に一括設定を行う場合は以下を参照してください。

⇒「管理サイト ユーザーマニュアル 機器」の「機器一括機器設定」

Android機器1 [] Android機器ABC 同期

管理 機器 アプリ 位置 パッケージ その他 操作

テンプレート

1 (適用するテンプレートを選択)

2 適用

設定

3 エージェント個別管理	4 (所属組織に従う 設定なし)	5 編集
位置情報管理	(所属組織に従う 設定なし)	編集
アプリケーション禁止	(所属組織に従う 設定なし)	編集
SDカード	(所属組織に従う 設定なし)	編集
カメラ	(所属組織に従う 設定なし)	編集
Bluetooth	(所属組織に従う 設定なし)	編集
スクリーンロック	(所属組織に従う 設定なし)	編集
リモートロック	(所属組織に従う 設定なし)	編集
リモートワイプ	(所属組織に従う 設定なし)	編集

項番	対象	説明
1	テンプレート	適用する設定テンプレートを選択します。
2	[適用]	選択中の設定テンプレートを適用します。
3	機能名	設定セットの適用が可能な機能名が表示されます。
4	適用中設定セット名	適用中の設定セット名が表示されます。
5	[編集]	各機能に対して設定セットを適用します。

2.3.10.1 設定セット作成画面を開く

設定セット作成画面を開きます。メニュータブから各種機能名をクリックした時と同様の動作です。

※メニュータブの詳細は以下を参照してください。

⇒メニュー 86 ページ

1. 機器一覧より対象とする機器をクリックします。
2. その他タブより設定をクリックします。
3. 機能名をクリックします。

2.3.10.2 設定セット編集画面を開く

対象とした設定セットの編集画面を開きます。メニュータブから各種機能名をクリックした時と同様の動作です。

※メニュータブの詳細は以下を参照してください。

⇒メニュー 86 ページ

1. 機器一覧より対象とする機器をクリックします。
2. その他タブより設定をクリックします。
3. 適用中設定セット名をクリックします。

2.3.10.3 単一の機器に設定テンプレートを適用する

設定テンプレートを適用します。

1. 機器一覧より対象とする機器をクリックします。
2. その他タブより設定をクリックします。
3. 適用する設定テンプレートを選択します。
4. [適用]をクリックします。

2.3.10.4 単一の機器に設定セットを適用する

設定セットを適用します。

※当画面では単一の機器を対象としています。複数の機器に一括設定を行う場合は以下を参照してください。

⇒「管理サイト ユーザーマニュアル 機器」の「機器一括機器設定」

※本製品のご利用を解約いただいても、機器に対して行った設定はそのまま保持されるのでご注意ください。解約の際は事前に各種設定セットに「設定なし」を適用してください。

※既に何らかの設定セットが選択されている状態から「設定なし」に変更した場合、機器の持っている設定値はその時点の値のままとなり、初期値に戻すなど、設定値を変更する事は行っておりません。また、「カメラ禁止」や「アプリケーション禁止」など、機器の持っている設定項目ではなく、エージェントで制御されている機能は、「設定なし」を選択する事で、作用しなくなります。ただし、例外として、スクリーンロックの「自動ロックまでの時間」に限り、「設定なし」に変更した場合、機器の選択可能な時間の制限が解除されます。スクリーンロックの詳細については、「管理サイト ユーザーマニュアル Android」の「Android-使用制限—スクリーンロック」を参照してください。

1. 機器一覧より対象とする機器をクリックします。
2. その他タブより設定をクリックします。
3. 対象とする機能名をクリックします。
4. [編集]をクリックします。
5. 適用する設定セットを選択して[保存]をクリックします。※1
6. 本設定内容は次回の同期時に機器に反映されます。ただちに反映したい場合は、手動で同期を行ってください。

※1：機器が所属する組織の設定セットを適用させたい場合は、デフォルトの「(所属組織に従う)」が選択されていることを確認してください。所属組織に設定が指定されていない場合は「(所属組織に従う設定なし)」が表示されます。

「(所属組織に従う)」以外が選択されている場合、組織の設定セットは適用されず、機器に設定されている設定セットが適用されます。組織への設定セット適用方法については、「管理サイト ユーザーマニュアル 組織/ユーザー」の「組織—組織—組織単位で機器設定を行う」を参照してください。

2.3.11 メッセージ

機器に対してメッセージを配信することができます。当機能を利用することにより、機器の所有者に対して、メールを送信する感覚で用件を伝えることができます。当画面では機器に設定されているメッセージの配信予定および、配信済みのメッセージを確認することができます。

※iOS で本機能を利用する場合、端末側に iOS エージェントのインストールが必要です。

※配信メッセージの新規作成および詳細については以下を参照してください。

⇒「管理サイト ユーザーマニュアル 機器」の「機器－メッセージ通知」

Android機器1 [09012345678] Android機器ABC 同期

管理 機器 アプリ 位置 パッケージ その他 操作

1 配信されるメッセージ

タイトル	スケジュール
メッセージ1	毎月29日
メッセージ2	毎週日曜日

2 メッセージボックス

- 2012/02/27 15:52:16
メッセージ2
メッセージ2です。
- 2012/02/27 14:53:49
メッセージ1
メッセージ1です。
- 2012/02/27 14:51:36
メッセージ1
メッセージ1です。

その他: リモート操作, ウイルス対策ソフト, ポリシー, 設定, メッセージ

項番	対象	説明
1	配信されるメッセージ	配信されるメッセージの一覧が表示されます。 タイトル／スケジュール／次回配信予定を確認できます。
2	メッセージボックス	過去に配信したメッセージの一覧が表示されます。

2.3.11.1 メッセージ編集画面を開く

メッセージ編集画面を開きます。メニュータブからメッセージ通知をクリックした時と同様の動作です。
ただし、メッセージ編集画面が開かれた時点で、クリックしたメッセージが選択された状態となります。

1. 機器一覧より対象とする機器をクリックします。
2. その他タブよりメッセージをクリックします。
3. 対象とするメッセージのタイトルをクリックします。

2.3.12 プロファイル(iOS 機器のみ)

機器にインストールされているプロファイル情報の確認が行えます。


iPad機器1 [aa:bb:cc:01:dd:02]
iPad (4.3.5)
同期

管理
機器
アプリ
プロファイル
その他
操作

1 構成プロファイル

管理	名前	組織	詳細
<input checked="" type="checkbox"/>	構成プロファイル	構成プロファイル	詳細

2 プロビジョニングプロファイル

名前	有効期限	詳細
プロビジョニングプロファイル	2012/10/29 22:33:25	詳細

3 証明書

ID	コモンネーム
<input checked="" type="checkbox"/>	証明書

項番	対象	説明
1	構成プロファイル	インストールされている構成プロファイルが表示されます。本製品からインストールしたプロファイルは[管理]列にチェックマークが表示されます。 ※OS の仕様により、チェックマークが表示されるタイミングは、プロファイルが一覧に表示されるタイミングより若干遅れます。
2	プロビジョニングプロファイル	インストールされているプロビジョニングプロファイルが表示されます。 ※プロビジョニングプロファイルは Apple Configurator 2 からのみ削除でき、本製品からは削除できません
3	証明書	インストールされている証明書が表示されます。

2.3.12.1 構成プロファイルおよびプロビジョニングプロファイルの詳細を確認する

識別子や暗号化の有無を確認することが可能です。

1. 機器一覧より対象とする機器をクリックします。
2. プロファイルタブをクリックします。
3. 対象とするプロファイルの[詳細]をクリックします。

2.3.13 リモート操作

管理サイト上から、機器に対してリモート操作を行うことができます。実行可能な操作は OS により異なります。

※各種操作が機器に反映されるまでの時間は、サーバーの負荷状態や通信状態に依存します。

※当画面では単一の機器を対象としています。複数の機器に一括操作を行う場合は以下を参照してください。

⇒「管理サイト ユーザーマニュアル 機器」の「機器一括機器設定」

【Android 機器の場合】

※Androidのリモート操作画面は、機器にインストールされているエージェントが対応バージョンの場合のみ表示されます。

項番	対象	説明
1	リモート操作画面	選択した機器に対してリモート操作を行うためのボタンなどが表示されます。

2.3.13.1 リモートロックを行う(Android 機器)

本製品独自のロック画面を表示します。合わせて端末のリモートロック画面に表示させるメッセージおよび鳴動の有無を設定可能です。入力項目に関しては、「リモート操作の入力値 (Android 機器)」64 ページを参照してください。

※設定セットを利用することでも実現可能です。設定セットと当画面からの指示が競合した場合は後者が優先されます。

⇒リモートロックの設定セットについては、「管理サイト ユーザーマニュアル Android」の「Android-使用制限ーリモートロック」を参照してください。

※Android5.x、6.0においては、リモートロックを行っても、リモートロック中にマルチユーザー切り替えができてしまうため、別アカウントとして操作が可能です。

1. 機器一覧より対象とする機器をクリックします。
2. その他タブよりリモート操作をクリックします。
3. 必要事項を入力して、リモートロックの[実行]をクリックします。
4. 確認画面で[OK]をクリックします。

2.3.13.2 ロック解除を行う(Android 機器)

リモートロックを解除します。設定セットを利用して行った「管理サイト ユーザーマニュアル Android」の「Android-使用制限ーリモートロック」や、「Androidーエージェント共通管理」によるリモートロックも解除可能です。

※設定セットを利用することでも実現可能です。設定セットと当画面からの指示が競合した場合は後者が優先されます。

⇒リモートロックの設定セットについては、「管理サイト ユーザーマニュアル Android」の「Android-使用制限ーリモートロック」を参照してください。

1. 機器一覧より対象とする機器をクリックします。
2. その他タブよりリモート操作をクリックします。
3. ロック解除の[実行]をクリックします。
4. 確認画面で[OK]をクリックします。

2.3.13.3 リモートワイプを行う(Android 機器)

機器の初期化を行います。ご利用には細心の注意を払ってください。

※設定セットを利用することでもリモートワイプが可能です。

⇒リモートワイプの設定セットについては、「管理サイト ユーザーマニュアル Android」の「Android-使用制限ーリモートワイプ」を参照してください。

1. 機器一覧より対象とする機器をクリックします。
2. その他タブよりリモート操作をクリックします。
3. リモートワイプの注意事項をお読みいただき、同意を示すチェックボックスをチェックします。
同意いただけない場合は、[実行]をクリックすることができません。
4. 端末に挿入されている SD カードを初期化対象に含める場合は SD カード初期化チェックボックスをチェックします。
5. リモートワイプの[実行]をクリックします。
6. 確認画面で[OK]をクリックします。

2.3.13.4 スクリーンロックパスワード変更設定を行う(Android 機器)

Android 標準の画面ロック機能のパスワードを設定します。新規パスワードを入力せずに実行した場合はロック機能自体の解除となります。ただし、暗号化を実施した端末には、必ず新規パスワードを設定してください。

※Android 7.0 以降の端末で、Device Owner Mode を利用していない端末には、スクリーンロックパスワード変更が行えません。

1. 機器一覧より対象とする機器をクリックします。
2. その他タブよりリモート操作をクリックします。
3. 新規パスワードを入力します。
4. スクリーンロックパスワード設定の[実行]をクリックします。

※パスワードを何も入力していない状態でロック解除を行う事で、スクリーンロックパスワードを解除することができますが、Android 端末の一部の機種では解除できない端末もあります。その場合はロックの解除は行われません。(スクリーンロックパスワードの解除の変更は可能です。)またスクリーンロックパスワードの解除が行えない端末は、Android 端末本体にて手動で設定ください。手動にて設定いただけない場合スクリーンロックパスワード変更機能が、正しく動作しない場合があります。

※Android 5.0 の端末の場合、スクリーンロックパスワード変更にて、パスワードを空に設定してもパスワード入力画面が表示されてしまいます。端末を再起動し、Android 5.1 以降に端末をバージョンアップ後、再度設定し直してください。

Android 5.1 以降にバージョンアップできない場合は、端末を再起動することでパスワード入力画面は表示されなくなります。

2.3.13.5 リモート操作の入力値（Android 機器）

リモート操作(Android 機器)では以下の入力ルールで設定を行います。

操作名	項目名	ルール
リモートロック	【ロックメッセージ】	端末のリモートロック設定時に端末に表示させるメッセージを設定します。 200 文字以内で入力してください。 制御文字の入力はできません。
	【ロック時の警告音】	リモートロックした端末から警告音を鳴らすことが可能です。なお、警告音には端末で設定されている通知音を利用しており、鳴動時は最大音量となります。本機能は Android4.0 以降に対応しています。 以下より選択します。 ・鳴動する：リモートロックした端末を鳴動させます。リモートロック画面が表示されている間は鳴動が続きます。なお、イヤホン利用時の動作は機種によって異なります。また、ハードウェアスイッチによりサイレントモードになっている端末は鳴動しませんのでご注意ください。 ・鳴動しない：リモートロックした端末を鳴動させません。
	【解除方法】	以下より選択します。 ・リモートロックの解除コード：リモートロックを解除コードで解除することが可能です。 ・解除させない：リモートロックは解除コードで解除できません。対象機器の Android エージェントバージョンが 7.3.100.0 以降の場合のみに有効です。 ・スクリーンロックパスワード：スクリーンロックパスワード解除することが可能です。管理サイトからロック解除はできません。
リモートワイプ	【SD カードを初期化する】	チェックを入れる。入れない。
	【同意する】	チェックを入れる。入れない。
スクリーンロックパスワード変更	【新規パスワード】	16 文字以内で入力してください。 半角英数字、記号のみ入力できます。
	【新規パスワード(再入力)】	16 文字以内で入力してください。 半角英数字、記号のみ入力できます。

【iOS 機器の場合】



iPad 機器1 [aa:bb:cc:01:dd:02]

iPad (4.3.5)

同期

管理

機器


アプリ

プロファイル

その他

操作

1




リモートロック

ロックメッセージ

電話番号

実行



リモートワイプ

同意する

実行

⚠ 対象機器のデータを消去します。実行後に取り消すことはできません。よろしければ「同意する」にチェックを入れて「実行」ボタンをクリックしてください。



リモートワイプ(管理領域)

同意する

実行

⚠ この操作により本サービスからインストールされた削除防止非適用プロファイルおよび

※iOS に対しては、機器が長時間オフラインになっているなど、リモート操作を指示できない状態が一定時間続くと、リモート操作指示が実行されずに消滅してしまう場合があります。(無効になる期間は Apple 社のポリシーにより公開されていません)

※iOS9 以降の端末にリモートロックすると低電力モードになり、位置情報が更新されない場合がございます。

項番	対象	説明
1	リモート操作画面	選択した機器に対してリモート操作を行うためのボタンなどが表示されます。

2.3.13.6 リモートロックを行う(iOS 機器)

OS標準のロック画面を表示します。ロックから復帰する際にパスコードの入力を求められるかどうかは、機器の設定に依存します。

1. 機器一覧より対象とする機器をクリックします。
2. その他タブよりリモート操作をクリックします。
3. ロック画面に表示するロックメッセージ、電話番号を入力します。
4. リモートロックの[実行]をクリックします。
5. 確認画面で[OK]をクリックします。

※iPhone/iPad 端末にパスコードが設定されていない場合、デフォルトのロック解除画面のみが表示されます。このため、「ロックメッセージ」「電話番号」で設定された連絡情報をユーザーが確認することはできません。リモートロックを行う前に、「機器」画面の「機器」タブ(29 ページ)の「スクリーンロック」項目の「パスコード保護」が有効になっていることを必ず確認してください。

※iOS7 以前の OS では、「ロックメッセージ」と「電話番号」は表示されません。

2.3.13.7 リモートワイプを行う(iOS 機器)

機器の初期化を行います。ご利用には細心の注意を払ってください。

1. 機器一覧より対象とする機器をクリックします。
2. その他タブよりリモート操作をクリックします。
3. リモートワイプの注意事項をお読みいただき、同意を示すチェックボックスをチェックします。
同意いただけない場合は、[実行]をクリックすることができません。
4. リモートワイプの[実行]をクリックします。
5. 確認画面で[OK]をクリックします。

2.3.13.8 機器の管理領域のデータを削除する(iOS 機器)

機器の管理領域のデータのみ削除されます。この操作により、本製品からインストールされた削除防止が適用されていないプロファイル(「管理サイト ユーザーマニュアル iOS」の「iOS-構成プロファイル」を参照)および、管理対象アプリ(「管理サイト ユーザーマニュアル iOS」の「iOS-アプリケーション-アプリケーション配信」を参照)が削除されます。実行後は機器が本製品の管理外となり、操作を取り消すことはできません。ご利用には細心の注意を払ってください。

1. 機器一覧より対象とする機器をクリックします。
2. その他タブよりリモート操作をクリックします。
3. リモートワイプの注意事項をお読みいただき、同意を示すチェックボックスをチェックします。
同意いただけない場合は、[実行]をクリックすることができません。
4. リモートワイプ(管理領域)の[実行]をクリックします。
5. 確認画面で[OK]をクリックします。

2.3.13.9 パスコード削除を行う(iOS 機器)

iOS 標準のロック画面から復帰する際にパスコードが設定されている場合、これを削除します。当機能を利用すると、機器のパスコードロック設定がオフに変更されます。

1. 機器一覧より対象とする機器をクリックします。
2. その他タブよりリモート操作をクリックします。
3. パスコード削除の注意事項をお読みいただき、同意を示すチェックボックスをチェックします。
同意いただけない場合は、[実行]をクリックすることができません。
4. パスコード削除の[実行]をクリックします。
5. 確認画面で[OK]をクリックします。

2.3.13.10 紛失モードを行う(iOS 機器)

Apple が提供している iOS の紛失モードに対応します。紛失、盗難にあった場合、遠隔ロックをかけることやメッセージを表示することが可能となります。ロックは管理サイトからだけ解除できるので、紛失によるデバイスの廃棄リスク、デバイスの不正利用による情報漏えいリスクを低減できます。

※iOS9.3 以上の監視対象端末のみ有効です。

※紛失モード中は低電力モードになります。

1. 機器一覧より対象とする機器をクリックします。
2. その他タブよりリモート操作をクリックします。
3. ロック画面に表示するロックメッセージ、電話番号、脚注を入力します。
4. 紛失モードの[実行]をクリックします。
5. 確認画面で[OK]をクリックします。

2.3.13.11 位置情報取得を行う(iOS 機器)

紛失モード中の端末から位置情報を取得します。エージェント認証していない端末の場合でも、紛失モードを使用することで端末の位置情報を取得し、端末の場所を特定することができます。

1. 機器一覧より対象とする機器をクリックします。
2. その他タブよりリモート操作をクリックします。
3. 位置情報取得の[実行]をクリックします。
4. 確認画面で[OK]をクリックします。

2.3.13.12 紛失モード解除を行う(iOS 機器)

紛失モードが設定されている場合、これを解除します。解除時に、位置情報を送信した場合は、そのことを伝える画面が端末に表示されます。ただし、位置情報設定が OFF になっている場合には表示されません。

1. 機器一覧より対象とする機器をクリックします。
2. その他タブよりリモート操作をクリックします。
3. 紛失モードの解除の[実行]をクリックします。
4. 確認画面で[OK]をクリックします。

2.3.13.13 アクティベーションロック解除を行う(iOS 機器)

アクティベーションロックが有効に設定されている場合、これを解除します。

※以下の4点の条件を満たしている場合に表示され、解除ができます。

- ・監視対象端末である。
- ・端末の機器タブに表示されるアクティベーションロックステータスが「有効」になっている。
- ・エージェント共通管理のアクティベーションロックの設定が「許可する」になっている。
- ・端末の Bypass Code が取得できている(機器タブの Bypass Code が表示されている)。

1. 機器一覧より対象とする機器をクリックします。
2. その他タブよりリモート操作をクリックします。
3. アクティベーションロック解除の注意事項をお読みいただき、同意を示すチェックボックスをチェックします。同意いただけない場合は、[実行]をクリックすることができません。
4. アクティベーションロック解除の[実行]をクリックします。
5. 確認画面で[OK]をクリックします。

2.3.13.14 リモート操作の入力値（iOS 機器）

リモート操作(iOS 機器)では以下の入力ルールで設定を行います。

操作名	項目名	ルール
リモートロック	【ロックメッセージ】	200 文字以内で入力してください。 制御文字の入力はできません。
	【電話番号】	20 文字以内で入力してください。 半角数字、「-」、「+」、「*」、「#」、「,」のみ入力できます。 ※ロックスクリーンに表示する電話番号です。
リモートワイプ	【同意する】	チェックを入れる。入れない。
リモートワイプ(管理領域)	【同意する】	チェックを入れる。入れない。
パスコード削除	【同意する】	チェックを入れる。入れない。
紛失モード	【ロックメッセージ】	200 文字以内で入力してください。 制御文字の入力はできません。 ※ロックメッセージまたは電話番号の何れかの入力が必要です。
	【電話番号】	20 文字以内で入力してください。 半角数字、「-」、「+」、「*」、「#」、「,」のみ入力できます。 ※ロックスクリーンに表示する電話番号です。 ※ロックメッセージまたは電話番号の何れかの入力が必要です。
	【脚注】	30 文字以内で入力してください。 制御文字の入力はできません。
アクティベーション ロック解除	【同意する】	チェックを入れる。入れない。

【Windows 機器の場合】



The screenshot shows the 'Windows' device management interface. At the top, there is a '同期' (Sync) button. Below it, a navigation bar contains '管理' (Management), '機器' (Devices), 'アプリ' (Apps), 'セキュリティ' (Security), and 'その他' (Others). A '操作' (Action) dropdown menu is on the right. The main content area is divided into two sections: 'リモートロック' (Remote Lock) and 'ロック解除' (Unlock). The 'リモートロック' section is highlighted with a red box and contains a 'ロックメッセージ' (Lock Message) input field and an '実行' (Execute) button. The 'ロック解除' section also has an '実行' (Execute) button.

項番	対象	説明
1	リモート操作画面	選択した機器に対してリモート操作を行うためのボタンなどが表示されます。

2.3.13.15 リモートロックを行う(Windows 機器)

ロック画面を表示します。端末のロック状態は、Windows 機器の「機器」タブ(29 ページ)の「リモートロック」から確認できます。

※システムによりグループポリシーが設定されてる場合は、グループポリシーが優先され、機能が利用できない場合があります。

グループポリシーについては、御社のシステム管理者にご相談ください。

1. 機器一覧より対象とする機器をクリックします。
2. その他タブよりリモート操作をクリックします。
3. ロック画面に表示するロックメッセージを入力します。
4. リモートロックの[実行]をクリックします。
5. 確認画面で[OK]をクリックします。

2.3.13.16 ロック解除を行う(Windows 機器)

ロック画面を解除します。

※システムによりグループポリシーが設定されてる場合は、グループポリシーが優先され、機能が利用できない場合があります。

グループポリシーについては、御社のシステム管理者にご相談ください。

1. 機器一覧より対象とする機器をクリックします。
2. その他タブよりリモート操作をクリックします。
3. ロック解除の[実行]をクリックします。

※ロック解除が反映されるまで時間がかかる場合があります。

2.3.13.17 リモートワイプを行う(Windows 機器)

Windows 機器のリモートワイプ(初期化)を行います。Windows 機器に対してリモートワイプを行うには、2つの方法があります。

※システムによりグループポリシーが設定されてる場合は、グループポリシーが優先され、機能が利用できない場合があります。

グループポリシーについては、御社のシステム管理者にご相談ください。

項番	対象	説明
1	BitLocker	暗号化(「管理サイト ユーザーマニュアル Windows」の「Windows-セットアップ-暗号化」を参照)済みドライブの回復キー以外の暗号化キーを削除することで、リモートワイプに相当する機能を提供します。回復キーを入力しないと、ドライブのデータにはアクセスすることができません。ご利用には細心の注意を払ってください。 復元手段に関しては Windows の BitLocker 機能のヘルプを参照してください。 ※暗号化(「管理サイト ユーザーマニュアル Windows」の「Windows-セットアップ-暗号化」を参照)が有効化されている Windows7 以降の機器にのみ対応しています。
2	データ削除	ファイルの削除とドライブのフォーマットによりリモートワイプを行います。データ削除が実行されるため、OS が起動しなくなります。ご利用には細心の注意を払ってください。

※データ削除によるリモートワイプ後も、復元技術により第三者にデータが閲覧されてしまう可能性があります。

※ドライブのフォーマットは、ドライブ文字・ボリュームラベルを持つドライブが対象となります。キャッシュ用途のドライブや、メーカーが設置したリカバリーディスク領域もドライブ文字・ボリュームラベルが割り当てられている場合は削除される可能性があります。この場合、フォーマット後も PC 機器が再利用できなくなるおそれがあります。

※アプリケーションの実行中にリモートワイプ(データ削除)が発生した場合、実行中のアプリケーションにより開かれているファイルやアプリケーションの実行ファイルが削除されずに残ってしまう可能性があります。また、これらのファイルやフォルダーが含まれるフォルダー構造も削除されない可能性があります。

※ドライブレターが割り当てられていないドライブの場合、リモートワイプ(データ削除)を行うことができません。ドライブレター設定後に、リモートワイプ(データ削除)を行ってください。

1. 機器一覧より対象とする機器をクリックします。
2. その他タブよりリモート操作をクリックします。
3. [BitLocker]か[データ削除]のいずれかを選択します。
4. リモートワイプの注意事項をお読みいただき、同意を示すチェックボックスをチェックします。
同意いただけない場合は、[実行]をクリックすることができません。
5. リモートワイプの[実行]をクリックします。
6. 確認画面で[OK]をクリックします。

2.3.13.18 リモート操作の入力値 (Windows 機器)

リモート操作(Windows 機器)では以下の入力ルールで設定を行います。

操作名	項目名	ルール
リモートロック	【ロックメッセージ】	200 文字以内で入力してください。 制御文字の入力はできません。
リモートワイプ		以下より選択。 ・ BitLocker ・ データ削除

2.3.14 Exchange 設定(iOS 機器のみ)

Microsoft Exchange をご利用されるお客様向けに、Exchange ActiveSync の設定画面をご提供しております。当画面で行う設定は、Apple Configurator の[Exchange ActiveSync]で行う設定と同様です。単一の機器に Exchange 設定を行う場合はどちらの方法もご利用いただけますが、複数の機器に一括して Exchange 設定を行う場合は後者の方法に限定されます。

※Apple Configurator の詳細については Apple 社にお問い合わせください。

※Microsoft Exchange および、Exchange ActiveSync の詳細については Microsoft 社にお問い合わせください。

※当画面で設定を行う場合は事前に証明書の登録が必要となります。証明書の登録については以下を参照してください。

⇒「管理サイト ユーザーマニュアル 各種設定」の「証明書管理－クライアント証明書管理」

⇒「管理サイト ユーザーマニュアル 各種設定」の「証明書管理－クライアント証明書一括アップロード」

※各種設定は次回の同期時に機器へ反映されます。お急ぎの場合は手動で同期を行ってください。



項番	対象	説明
1	設定内容	現在の設定内容が表示されます。
2	[新規作成]	設定を新規作成します。既に設定がされている場合は、[編集]および[削除]が表示されます。

2.3.14.1 Exchange ActiveSync 設定を新規作成する

Exchange ActiveSync 設定を新規作成します。

1. 機器一覧より対象とする機器をクリックします。
2. その他タブより Exchange 設定をクリックします。
3. [新規作成]をクリックします。
4. 各種設定値を入力します。
5. [保存]をクリックします。

※設定値に入力する内容については、Exchange の管理者へお問い合わせください。

2.3.14.2 Exchange ActiveSync 設定を編集する

機器に設定されている Exchange ActiveSync 設定を編集します。入力項目については新規作成時と同様です。

1. 機器一覧より対象とする機器をクリックします。
2. その他タブより Exchange 設定をクリックします。
3. [編集]をクリックします。
4. 各種設定値を入力します。
5. [保存]をクリックします。

2.3.14.3 Exchange ActiveSync 設定を削除する

機器に設定されている Exchange ActiveSync 設定を削除します。

1. 機器一覧より対象とする機器をクリックします。
2. その他タブより Exchange 設定をクリックします。
3. [削除]をクリックします。
4. 確認画面で[OK]をクリックします。

2.3.15 VPN 設定(iOS 機器のみ)

VPN をご利用されるお客様向けに設定画面をご提供しております。当画面で行う設定は、Apple Configurator の[VPN]で行う設定とほぼ同様(*1)ですが、接続タイプは L2TP／PPTP／IPSec (Cisco) / Cisco AnyConnect / Juniper SSL (Junos Pulse) / カスタム SSL のみ対応となります。

(*1) 接続タイプ：IPSec(Cisco)を設定する際の「オンデマンド VPN を有効にする」には対応していません。

※Apple Configurator の詳細については Apple 社にお問い合わせください。

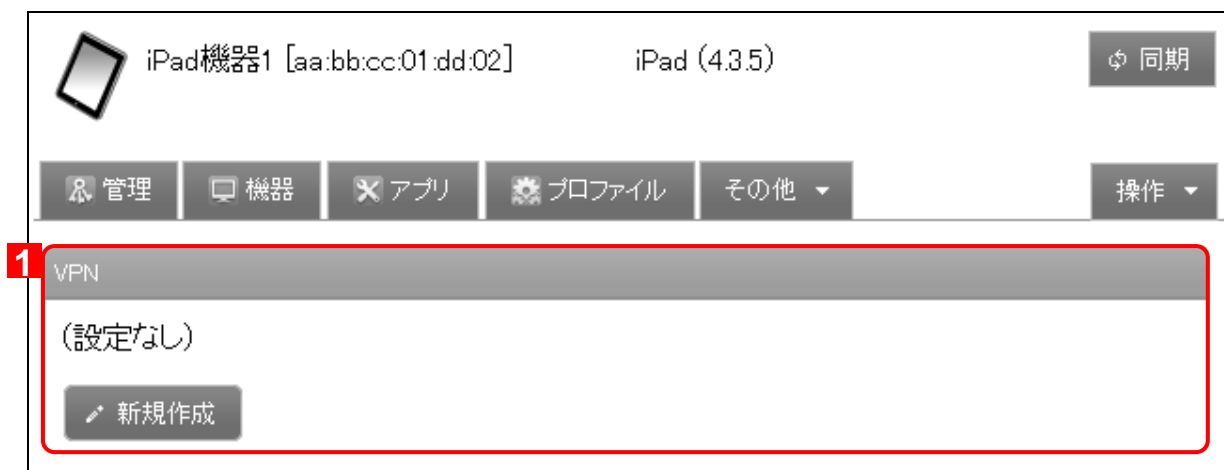
※存在しない識別子を入力した場合、VPN 設定が端末に反映されず構成プロファイルのインストールに失敗することがあります。識別子は VPN 装置ベンダーごとに異なるため、VPN 装置ベンダーへご確認ください。

※当画面で設定を行う場合は事前に証明書の登録が必要となります。証明書の登録については以下を参照してください。

⇒「管理サイト ユーザーマニュアル 各種設定」の「証明書管理－クライアント証明書管理」

⇒「管理サイト ユーザーマニュアル 各種設定」の「証明書管理－クライアント証明書一括アップロード」

※各種設定は次回の同期時に機器へ反映されます。お急ぎの場合は手動で同期を行ってください。



項番	対象	説明
1	VPN 設定情報	選択した機器に対する VPN 設定が表示されます。

2.3.15.1 VPN 設定を新規作成する

VPN 設定を新規作成します。入力項目に関しては、「VPN 設定の入力値」77 ページを参照してください。

1. 機器一覧より対象とする機器をクリックします。
2. その他タブより VPN 設定をクリックします。
3. [新規作成]をクリックします。
4. 各種設定値を入力します。
5. [保存]をクリックします。

2.3.15.2 VPN 設定を編集する

機器に設定されている VPN 設定を編集します。入力項目については新規作成時と同様です。

1. 機器一覧より対象とする機器をクリックします。
2. その他タブより VPN 設定をクリックします。
3. [編集]をクリックします。
4. 各種設定値を入力します。
5. [保存]をクリックします。

2.3.15.3 VPN 設定を削除する

機器に設定されている VPN 設定を削除します。

1. 機器一覧より対象とする機器をクリックします。
2. その他タブより VPN 設定をクリックします。
3. [削除]をクリックします。
4. 確認画面で[OK]をクリックします。

2.3.15.4 VPN 設定の入力値

VPN 設定では以下の入力ルールで設定を行います。

項目名	ルール
【VPN ホスト】	VPN ホストを指定します。入力必須です。 255 文字以内で入力してください。 半角英数字、記号のみ入力できます。
【接続タイプ】	接続タイプを以下より選択します。以降の入力項目は接続タイプごとに異なります。 L2TP PPTP IPSec (Cisco) Cisco AnyConnect Juniper SSL (Junos Pulse) カスタム SSL

以降の入力項目は接続タイプごとに異なります。接続タイプに「○」がついている項目の入力が必要となります。

項目名	ルール	L2TP	PPTP	IPSec (Cisco)	Cisco AnyConnect	Juniper SSL (Junos Pulse)	カスタム SSL
【ユーザー認証 方法】	以下より選択 (L2TP、PPTP の場合) ・パスワード ・RSA SecurID (Cisco AnyConnect、Juniper SSL (Junos Pulse) の場合) ・パスワード ・証明書 ・パスワード+証明書 (カスタム SSL の場合) ・パスワード ・証明書	○	○	-	○	○	○
【ユーザー情報】	所属ユーザーの情報を利用するか指定します。 メールアドレス、ユーザーID など管理サイトのユーザー画面(「管理サイト ユーザーマニュアル 組織/ユーザー」の「ユーザーユーザー」を参照)の一部の情報を利用できます。	○	○	○	○	○	○
【ユーザーアカウント】	ユーザーアカウントを入力します。 255 文字以内で入力してください。 半角英数字、記号のみ入力できます。	○	○	○	○	○	○
【ユーザーパスワード】	ユーザー認証方法がパスワードの場合のみ入力が必要です。 ユーザーパスワードを入力します。 255 文字以内で入力してください。 半角英数字、記号のみ入力できます。	○	○	○	○	○	○
【役割】	Juniper SSL で設定した役割を入力します。 255 文字以内で入力してください。 半角英数字、記号のみ入力できます。	-	-	-	-	○	-
【保護領域】	保護領域を入力します。 255 文字以内で入力してください。 半角英数字、記号のみ入力できます。	-	-	-	-	○	-

項目名	ルール	L2TP	PPTP	IPSec (Cisco)	Cisco AnyConnect	Juniper SSL (Junos Pulse)	カスタム SSL
【共有シークレット】	共有シークレットを入力します。 255 文字以内で入力してください。 半角英数字、記号のみ入力できます。 ※IPSec (Cisco)の場合は、コンピューター認証が共有シークレット／グループ名の場合のみ入力が必要です。	○	-	○	-	-	-
【接続設定】	全てのネットワークトラフィックを VPN 経由で送信する場合はチェックします。	○	○	-	-	-	-
【暗号化レベル】	以下より選択します。 ・なし ・自動 ・最大 (128bit)	-	○	-	-	-	-
【コンピューター認証】	以下より選択します。 ・証明書 ・共有シークレット／グループ名	-	-	○	-	-	-
【固有証明書】	コンピューター認証で証明書を選択した場合、必ず選択してください。 クライアント証明書管理またはクライアント証明書一括アップロード(「管理サイト ユーザーマニュアル 各種設定」の「証明書管理」を参照)で登録した証明書から選択します。	-	-	○	-	-	-
【資格情報】	ユーザー認証方法で「証明書」または「パスワード+証明書」を選択した場合、必ず選択してください。 クライアント証明書管理またはクライアント証明書一括アップロード(「管理サイト ユーザーマニュアル 各種設定」の「証明書管理」を参照)で登録した証明書から選択します。	-	-	-	○	○	○
【証明書設定】	コンピューター認証が証明書の場合のみ設定が必要です。 選択した固有証明書がパスワードで保護されている場合はチェックします。	-	-	○	-	-	-
【オンデマンド VPN 設定】	オンデマンド VPN を有効にし、かつ固有証明書(機器に設定されているクライアント証明書)を選択する場合は、チェックします。	-	-	○	-	-	-
【グループ名/グループ】	グループ名を入力します。 255 文字以内で入力してください。 半角英数字、記号のみ入力できます。 ※IPSec (Cisco)の場合、コンピューター認証が共有シークレット／グループ名の場合のみ入力が必要です。	-	-	○	○	-	-
【認証設定】	コンピューター認証が共有シークレット／グループ名の場合のみ設定が必要です。 以下より選択します。複数指定可能です。 ・ハイブリッド認証を使用する ・パスワードの入力を要求する	-	-	○	-	-	-
【識別子】	識別子を入力します。	-	-	-	-	-	○
【カスタムデータ】	キーと値の組み合わせで入力します。	-	-	-	-	-	○
【プロキシ設定】	以下より選択 ・なし ・手動 ・自動	○	○	○	○	○	○

項目名	ルール	L2TP	PPTP	IPSec (Cisco)	Cisco AnyConnect	Juniper SSL (Junos Pulse)	カスタム SSL
【プロキシサーバーホストおよびプロキシサーバーポート番号】	プロキシ設定で手動を選択した場合、入力必須です。 プロキシサーバー： 255 文字以内で入力してください。 半角英数字、記号のみ入力できます。 ポート番号： 半角数字のみ入力できます。 0 以上 65535 以下を指定してください。	○	○	○	○	○	○
【プロキシ接続ユーザー名】	プロキシが手動の場合のみ入力が必要です。プロキシ接続ユーザー名を入力します。 255 文字以内で入力してください。 半角英数字、記号のみ入力できます。	○	○	○	○	○	○
【プロキシ接続パスワード】	プロキシが手動の場合のみ入力が必要です。プロキシ接続パスワードを入力します。 255 文字以内で入力してください。 半角英数字、記号のみ入力できます。	○	○	○	○	○	○
【プロキシ設定取得 URL】	プロキシが自動の場合のみ入力が必要です。プロキシ設定取得 URL を入力します。 255 文字以内で入力してください。 半角英数字、記号のみ入力できます。	○	○	○	○	○	○
【備考】	255 文字以内で入力してください。	○	○	○	○	○	○

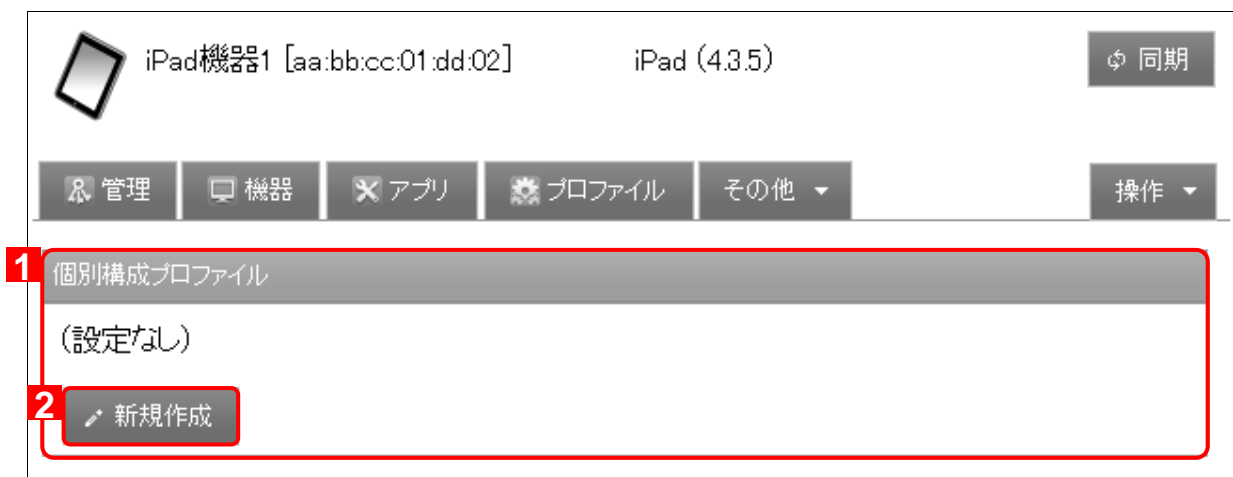
2.3.16 個別構成プロファイル(iOS 機器のみ)

構成プロファイルとは、Apple 社が提供している Apple Configurator 上で作成することができるプロファイルで、iPhone/iPad に対する制御や設定を行うことができます。本製品では、Apple Configurator 上で構成プロファイルを作成し、管理サイトにアップロードしていただき、iPhone/iPad にインストールしていただくことで、iPhone/iPad の制御や設定を行います。個別構成プロファイルは多数の機器に適用することを想定してアップロード上限数は設けておりませんが、単一の機器を対象とした操作しか行えません。多数の機器に共通する設定は構成プロファイルを利用してください。

※Apple Configurator および構成プロファイルの詳細については Apple 社にお問い合わせください。

※当画面では単一の機器を対象としています。複数の機器に一括操作を行う場合は以下を参照してください。

- ⇒「管理サイト ユーザーマニュアル iOS」の「iOSー構成プロファイル」
- ⇒「管理サイト ユーザーマニュアル iOS」の「iOSー構成プロファイルアップロード」
- ⇒「管理サイト ユーザーマニュアル 機器」の「機器ー一括機器設定」



項番	対象	説明
1	個別構成プロファイル適用状況	個別構成プロファイルの適用状況が表示されます。 「(設定なし)」、「1 個のペイロード」など。
2	[新規作成]	個別構成プロファイルを新規作成します。既に個別構成プロファイルが適用されている場合は、[編集]、[削除]、[ダウンロード]が表示されます。

2.3.16.1 個別構成プロファイルを新規作成する

Apple Configurator で作成した構成プロファイルを管理サイトにアップロードして機器に適用します。事前に適用する構成プロファイルをご用意ください。

1. 機器一覧より対象とする機器をクリックします。
2. その他タブより個別構成プロファイルをクリックします。
3. [新規作成]をクリックします。
4. [参照]をクリックします。
5. Apple Configurator で作成した構成プロファイルを選択して[開く]をクリックします。
6. [保存]をクリックします。

※Apple Configurator および構成プロファイルの詳細については Apple 社にお問い合わせください。

2.3.16.2 個別構成プロファイルを編集する

適用済みの構成プロファイルを新たな構成プロファイルで上書きします。事前に適用する構成プロファイルをご用意ください。

1. 機器一覧より対象とする機器をクリックします。
2. その他タブより個別構成プロファイルをクリックします。
3. [編集]をクリックします。
4. [参照]をクリックします。
5. Apple Configurator で作成した構成プロファイルを選択して[開く]をクリックします。
6. [保存]をクリックします。

2.3.16.3 個別構成プロファイルを削除する

適用済みの構成プロファイルを削除します。

1. 機器一覧より対象とする機器をクリックします。
2. その他タブより個別構成プロファイルをクリックします。
3. [削除]をクリックします。
4. 確認画面で[OK]をクリックします。

2.3.17 VPP 設定(iOS 機器のみ)

機器に対する VPP ライセンスの配布状況を確認・管理します。本画面で割り当てたライセンスは、「VPP ライセンス」の「アプリケーション」タブで、「未割当数」としてカウントされます。この状態では実際にはライセンスは付与されていません。詳細は、「管理サイト ユーザーマニュアル iOS」の「iOS-アプリケーション-VPP ライセンス-VPP ライセンス画面を表示する-【アプリケーション】タブ」を参照してください。

【注意事項】

ユーザー(または組織)画面にてユーザーに対して、VPP ライセンスを付与している場合、ユーザーに対する付与が優先されるため、本画面を編集できません。

なお、機器に対してはライセンス付与できないため、「割当待ち」と表示されます。

iPhone [Device Name] [Sync]

管理 機器 アプリ プロファイル その他 操作

テンプレート

1 (適用するテンプレートを選択) [適用]

VPP - 編集

2 VPP管理配布登録
VPPライセンス [License Name]

3 VPPアプリライセンス付与
アプリケーション名 [App Name] (+ボタンで追加: 10 件まで) [Add]

※機器所有のユーザーに対するVPP設定がある場合は、ユーザーのVPP設定が有効になります。

[保存] [取消]

項番	対象	説明
1	テンプレート	機器に VPP テンプレートを適用します。
2	VPP 管理配布登録	VPP ライセンス : VPP アカウントを選択します。
3	VPP アプリライセ ンス付与	<p>ライセンスの付与情報を確認・編集します。プルダウンメニューからライセンスを付与するアプリを選択します。「VPP アプリライセンス付与」には、ライセンスが付与されたアプリの名前が表示されます。この名前をクリックすると、iTunes Store の該当アプリの紹介ページが開きます。</p> <p>※アプリを追加するためには[追加] をクリックします。</p> <p>※[削除] をクリックするとアプリが削除されます。</p>

2.3.17.1 VPP を編集する

機器の VPP の付与状況を編集します。入力項目に関しては、「VPP の入力値」83 ページを参照してください。本画面で新たに追加または削除された VPP ライセンスは「仮割当て」または「仮削除」の状態となります。実際にライセンスを付与・削除するには、「VPP ライセンス」の「アプリケーション」タブから操作を行う必要があります。詳細は、「管理サイト ユーザーマニュアル iOS」の「iOS-アプリケーション-VPP ライセンス-VPP ライセンス画面を表示する」【アプリケーション】タブを参照してください。

1. 機器画面より対象とする機器をクリックします。
2. [その他]タブから[VPP 設定]をクリックします。
3. [編集]をクリックします。
4. 必要事項を入力し、[保存]をクリックします。編集をキャンセルする場合は[取消]をクリックします。

2.3.17.2 機器個別設定を行う

機器が所属している組織に既に機器に対する VPP 設定が適用されている場合、VPP 設定画面には、組織で設定した VPP 設定詳細が表示されます。組織の設定を無視して、機器個別の VPP 設定を適用する場合は、以下の手順に従ってください。

1. 機器画面より対象とする機器をクリックします。
2. [その他]タブから[VPP 設定]をクリックします。
3. [機器個別設定] をクリックします。確認画面で[OK]をクリックします。
4. 必要事項を入力し、[保存]をクリックします。
5. 編集をキャンセルする場合は[取消]をクリックします。

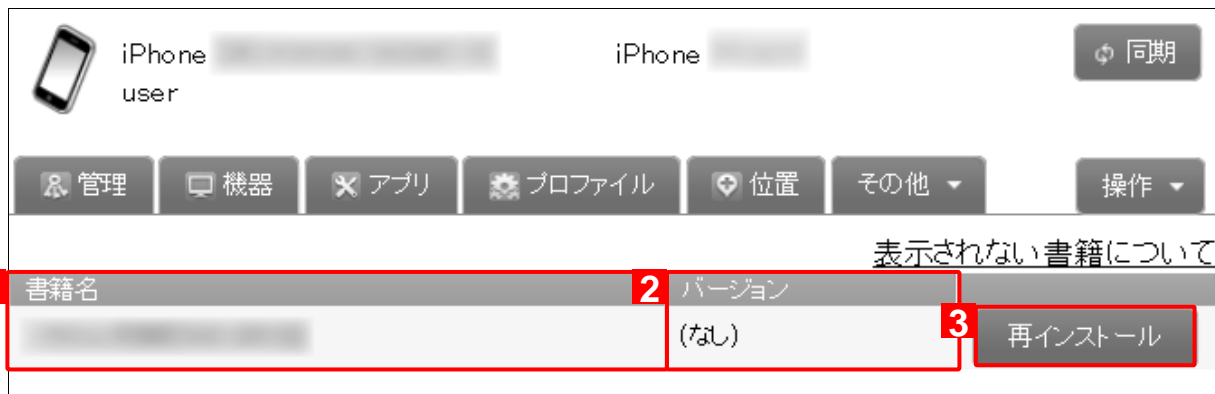
2.3.17.3 VPP の入力値

機器画面では以下の入力ルールで設定を行います。

タブ名	項目名	ルール
VPP 設定	【テンプレート】	VPP テンプレートを選択します。
	【VPP ライセンス】	VPP ライセンスを選択します。
	【VPP アプリライセンス付与】	VPP アプリライセンスを付与するアプリケーション名をプルダウンメニューより選択します。

2.3.18 書籍(iOS 機器のみ)

VPP の設定により配信された書籍が一覧表示されます。



項番	対象	説明
1	書籍名	VPP の設定により配信された書籍名が表示されます。
2	バージョン	既にインストールしている書籍のバージョンが更新された場合に、バージョン情報が表示されます。 ※書籍のバージョンが更新されていない場合は「(なし)」と表示されます。
3	[再インストール]	クリックすると、書籍が iOS 端末に再インストールされます。新しいバージョンがある場合は、更新されたバージョンの書籍がインストールされます。

2.3.18.1 書籍を再インストールする

書籍に新しいバージョンがある場合や、配信に失敗した場合などに再インストールできます。

1. 機器一覧より対象とする iOS 機器をクリックします。
2. その他タブより書籍をクリックします。
3. 再インストールしたい書籍の[再インストール]をクリックします。(ボタンが[同期待ち]になります。)
4. [同期]をクリックします。

2.3.19 Microsoft Update 更新プログラム(Windows 機器のみ)

Microsoft Update 更新プログラムを確認します。

1 Microsoft Update更新プログラム	2 製品ファミリー	3 状態
Microsoft Windows のセキュリティ更新プログラム	Windows Update	適用済み
Microsoft Windows のセキュリティ更新プログラム	Windows Update	適用済み
Microsoft Windows のセキュリティ更新プログラム	Windows Update	適用済み
Microsoft Windows のセキュリティ更新プログラム	Windows Update	適用済み
Microsoft Windows のセキュリティ更新プログラム	Windows Update	適用済み
Microsoft Windows のセキュリティ更新プログラム	Windows Update	適用済み
Microsoft Windows のセキュリティ更新プログラム	Windows Update	適用済み
Security Update for Microsoft Office 2007 suites 32-Bit Edition	Office Update	適用済み
Security Update for Microsoft Office 2007 suites 32-Bit Edition	Office Update	適用済み
Security Update for Microsoft Office 2007 suites 32-Bit Edition	Office Update	適用済み
Security Update for Microsoft Office 2007 suites 32-Bit Edition	Office Update	適用済み
Security Update for Microsoft Office 2007 suites 32-Bit Edition	Office Update	適用済み
Security Update for Microsoft Office 2007 suites 32-Bit Edition	Office Update	適用済み
	その他	適用済み
	その他	適用済み

項番	対象	説明
1	Microsoft Update 更新プログラム	Microsoft Update 更新プログラム名が表示されます。
2	製品ファミリー	「Windows Update」「OfficeUpdate」「その他」のいずれかの製品ファミリーが表示されます。
3	状態	「適用済み」「未適用」などのアップデートの状態が表示されます。

2.3.19.1 Microsoft Update 更新プログラムを確認する

Windows 機器上の Microsoft Update 更新プログラムを確認します。

1. 機器一覧より対象とする Windows 機器をクリックします。
2. その他タブより Microsoft Update 更新プログラムをクリックします。

2.3.20 アラート

アラートの状態を表示します。通知設定画面で表示設定をしたアラート状態のみ本画面で表示されます。通知設定画面についての詳細は、「管理サイト ユーザーマニュアル 各種設定」の「管理－通知設定」を参照してください。また、各項目の診断有無の設定は、システム設定・診断画面(「管理サイト ユーザーマニュアル Windows」の「Windows－システム設定・診断」を参照)もしくはシステムセキュリティ画面(「管理サイト ユーザーマニュアル Windows」の「Windows－システムセキュリティ」を参照)で行います。

2.3.20.1 アラート画面を表示する

アラート画面を表示します。

1. 機器一覧より対象とする Windows 機器をクリックします。
2. その他タブよりアラートをクリックします。

アラート画面のスクリーンショット。右上には「リスト表示」ボタンと「同期」ボタンがあります。下部には「アラート」タブが選択されています。

アラート状態	
Windowsのファイアウォール診断	未診断
WindowsのGuestアカウント診断	未診断
Windowsの自動アップデート診断	未診断
Windows以外のMicrosoft製品のアップデート診断	未診断
Windowsのスクリーンセーバー診断	未診断
ウイルス対策ソフト	未診断
スパイウェア対策ソフト	未診断
ドライブ空き容量診断	未診断
CPU温度診断	未診断
ハードディスク異常診断	未診断
Windows Update未実施	○
Windows 更新プログラムの未適用	×
Office 更新プログラムの未適用	○
アプリケーション使用禁止	○
ウイルススキャンのウイルス検知	○

項番	対象	説明
1	アラート状態	<p>アラートの状態が表示されます。異常がない場合は「○」、異常がある場合は「×」、診断を行わない設定になっている場合は、「未診断」が表示されます。イベントアラート(アプリケーション使用禁止、ウイルススクリアのウイルス検知)の場合は、アラート件数も表示されます。 診断有無の設定を行う画面については、下記を参照してください。</p> <p>■システムセキュリティ画面(「管理サイト ユーザーマニュアル Windows」の「Windows－システムセキュリティ」を参照)で診断有無の設定を行う項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Windows のファイアウォール診断 ・ Windows の Guest アカウント診断 ・ Windows の自動アップデート診断 ・ Windows 以外の Microsoft 製品のアップデート診断 ・ Windows のスクリーンセーバー診断 ・ ウイルス対策ソフト ・ スパイウェア対策ソフト <p>■システム設定・診断画面(「管理サイト ユーザーマニュアル Windows」の「Windows－システム設定・診断」を参照)で診断有無の設定を行う項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ドライブ空き容量診断 ・ CPU 温度診断 ・ ハードディスク異常診断 <p>■自動で診断される項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Microsoft_update Windows Update 未実施 ・ Microsoft_update Windows 更新プログラムの未適用 ・ Microsoft_update Office 更新プログラムの未適用 ・ アプリケーション使用禁止 ・ ウイルススクリアのウイルス検知

※表示されるアラート状態は以下のとおりです。

Windows のファイアウォール診断

Windows の Guest アカウント診断

Windows の自動アップデート診断

Windows 以外の Microsoft 製品のアップデート診断

Windows のスクリーンセーバー診断

ウイルス対策ソフト

スパイウェア対策ソフト

ドライブ空き容量診断

CPU 温度診断

ハードディスク異常診断

WindowsUpdate 未実施

Windows 更新プログラムの未適用

Office 更新プログラムの未適用

アプリケーション使用禁止

ウイルススクリアのウイルス検知

2.4 メニュー

機器タブでは、主に単一の機器に対する設定や確認を行いました。メニュータブでは、複数の機器に対して一括設定を行ったり、複数のユーザーや機器を CSV ファイルからまとめてインポートするなど、より管理的な機能を提供しています。また、機器に対する各種制限を行うには設定セットの作成が必要である旨を、機器タブの章で記載しましたが、設定セットの作成を行うための機能もメニュータブにて提供しております。

※メニュータブで実現できることや、その操作方法については各マニュアルを参照してください。



項番	対象	説明
1	機能名	機能名をクリックすると、機能名に応じた画面が表示されます。

2.5 設定セット作成方法


設定セットや設定テンプレートの作成方法は共通です。メニュータブをクリックして、各機能の設定セット画面や設定テンプレート画面を表示します。入力値等の詳細については、各マニュアルを参照してください。



項番	対象	説明
1	[新規作成]	クリックすると設定入力欄が表示されます。設定セット新規作成方法は「新規作成 (登録)する」90 ページを参照してください。
2	[その他の操作]	クリックすると以下のメニューが表示されます。 ・ 全てにチェックを入れる：全ての設定セットのチェックボックスにチェックが入ります。 ・ 全てのチェックをはずす：全ての設定セットのチェックボックスからチェックをはずします。 ・ 一括削除：チェックの入った設定セットを削除します。詳細は「まとめて削除する」90 ページを参照してください。
3	一覧	登録されている設定セットの一覧が表示されます。
4	[操作]	クリックすると以下のメニューが表示されます。 ・ 複製：設定セットを複製します。複製できない設定セットでは、表示されません。詳細は「複製する」90 ページを参照してください。 ・ 削除：設定セットを削除します。詳細は「削除する」90 ページを参照してください。
5	[編集]	登録されている設定セット情報を編集することができます。詳細は「編集する」90 ページを参照してください。

2.5.1 新規作成(登録)する

設定セットを新規作成(登録)します。入力項目に関しては、各設定セットの「入力値」を参照してください。

1. [新規作成]  をクリックします。
2. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

2.5.2 編集する

作成済みの設定セットを編集します。入力項目に関しては、新規作成(登録)する場合と同様です。

1. 設定セッの一覧より対象とする設定セットをクリックします。
2. [編集]をクリックします。
3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。


2.5.3 削除する

作成済みの設定セットを削除します。

1. 設定セッの一覧より対象とする設定セットをクリックします。
2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
3. [削除]をクリックします。
4. 確認画面で[OK]をクリックします。

2.5.4 まとめて削除する

作成済みの設定セットを複数指定して削除します。削除したい対象が多数ある場合でも、一度の操作で削除可能です。

1. 設定セッの一覧より対象とする設定セットのチェックボックスにチェックを入れます。
2. [その他の操作]  をクリックしてその他の操作メニューを表示させます。
3. [一括削除]をクリックします。
4. 確認画面で[OK]をクリックします。

2.5.5 複製する

作成済みの設定セットを複製します。複製できない設定セットもあります。

1. 設定セッの一覧より対象とする設定セットをクリックします。
2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
3. [複製]をクリックすると複製元の設定が初期値として表示された状態で新規作成画面が開きます。
以降は新規作成の場合と同様です。